

平成24年度  
「高山地域住民の地域活動・意識（思い、願い）調査」  
調査報告



大田市立高山公民館長  
大畑修一



## はじめに

この調査は、当公民館が、島根県教育委員会及び島根県公民館連絡協議会から「平成24年度実証！『地域力』醸成プログラム」のモデル公民館の選定を受け、当館の事業の一つとして実施しました。

平成21年度から大田市は、市内全域にあった25公民館を再編し、地域（ブロック）単位にそれぞれ1つの公民館、計7館を設置しました。そして、旧町村単位にそれぞれ28のまちづくりセンターを設置し、この新しい体制で今年度5年目を迎えます。

公民館（教育委員会）と、まちづくりセンター（市長部局）が連携・連動しながら、地域づくり・人づくりに取り組む、いわゆる大田市方式は県内においても初の試みであり、市内外の社会教育関係者から注目を浴びているところです。

そんな中であって、当館は、「高山の宝をみんなで守り、磨き、育て、結びあおう～より大きな地域活力を生み出すための絆づくり～」をテーマに掲げ、2本の柱「調査」と「子育て・家庭教育支援」を中心に諸事業に取り組んでまいりました。

高山地域は、世界遺産をはじめとする歴史・文化・自然・産業等、多くの宝に恵まれた地域です。しかし、この地域にあっても、少子高齢化をはじめとする社会環境の大きな変化の波が地域住民に押し寄せ、将来への不安を増大させています。

そこで、高山地域にとって、何が守るべき宝で、何が解決すべき課題なのかを明らかにするために、ささやかな取り組みではありますがこの調査を実施しました。

この報告書は、その調査結果をまとめたものであり、今後の公民館事業・活動の推進のために活用してまいります。

なお、この調査の実施にあたり、ご協力を賜りました4町まちづくりセンター、自治会、高山地域住民の皆様、そして、この調査全般にわたり熱心にご指導ご助言をいただきました島根大学生涯学習教育研究センターの仲野 寛教授に心から感謝を申し上げます。

平成25年7月

大田市立高山公民館長

大 畑 修 一



# 目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果について	3
1. 高山地域4町全体の集計結果について	
(1) 住民の地域への思いや願い、地域活動の状況について	3
① 地域の自慢や誇り【質問4】	3
② 困っていることや不安【質問5】	3
③ 地域づくりのために必要な取り組み【質問6】	4
④ あなたが取り組んでいる活動【質問7】	4
(2) 住民の学習活動の現状と公民館事業・講座への希望について	5
① 事業・講座への参加の有無【質問8】	5
② 参加した事業・講座【質問9】	5
③ 不参加の理由【質問10】	6
④ 学習や活動の活用【質問11】	6
⑤ 公民館事業・活動への希望【質問12】	7
2. 高山地域4町別の集計結果について	
(1) 住民の地域への思いや願い、地域活動の状況について	8
① 地域の自慢や誇り【質問4】	8
② 困っていることや不安【質問5】	9
③ 地域づくりのために必要な取り組み【質問6】	11
④ あなたが取り組んでいる活動【質問7】	13
(2) 住民の学習活動の現状と公民館事業・講座への希望について	14
① 事業・講座への参加の有無【質問8】	14
② 参加した事業・講座【質問9】	15
③ 不参加の理由【質問10】	16
④ 学習や活動の活用【質問11】	18
⑤ 公民館事業・活動への希望【質問12】	19
⑥ 自由記述【質問13】	21
《全体の頻出語》	21
《抽出した単語の出現パターンによる分析》	22
第3章 調査結果のまとめ	23
(1) 回収結果、回答者の属性から	23
(2) 地域の宝・課題・取り組みは、何か	23
(3) 公民館事業・活動への希望	24
(4) 調査結果の活用	24
<b>資 料</b>	
(1) 回答者の属性について	25
① 町 別	25
② 性 別【質問1】	26
③ 年 齢【質問2】	26
④ 職 業【質問3】	29
(2) 「高山地域住民の地域活動・意識（思い、願い）調査」《調査用紙》	32

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

高山地域のより良い未来を築いていくために、地域住民の思いや願い、取り組んできた地域活動の実態を把握し、そこから見えてくる課題を明らかにするとともに、その課題解決のための手立てを今後の公民館の事業に反映させることを目的とする。

## 2 調査対象

高山地域4町（大森町、水上町、祖式町、大代町）の全世帯〈804世帯〉を調査対象とした。

※高山地域全世帯数804世帯、高山地域全住民数1,794人（平成24年12月1日現在）

## 3 調査項目

- (1) 回答者の属性（地域・男女・年代層・職業）
- (2) 住民の地域への思いや願い、地域活動の状況について
- (3) 住民の学習活動の現状と公民館事業・講座への希望について

## 4 調査方法

全世帯に調査票を配布し、返信用封筒により無記名、郵送調査法にて実施した。

調査対象世帯への配布については、まちづくりセンター・自治会長会を通して、各自治会開催の折に調査協力を依頼し、各世帯へ配布した。

なお、その際に町単位で色別の質問紙を配付し、後日回収の折には、町別に識別・集計ができるようにした。

また、各世帯の回答者については、年代や性別などを限定せず、世帯構成員の代表1名に回答してもらうように依頼した。

## 5 調査期間

配付日から回収までの期間：平成24年11月15日～12月15日

## 6 回収結果

- |           |       |
|-----------|-------|
| (1) 配布数   | 804   |
| (2) 回収数   | 317   |
| (3) 有効票数  | 310   |
| (4) 回収率   | 39.4% |
| (5) 有効回収率 | 38.6% |

## 7 回答者の属性

- ・ 回答者の町別分布は、水上町が全体の31.0%を占め、他の3町が20%台を占める結果になった。（表・図1参照）
- ・ 「性別」は、高山地域の男女別人口（男837人、女957人）は、人数比で女性の方が6.7%ほど男性を上回っているが、本調査回答者の男女の比率は同数であった。（表2）

- ・ 「年齢構成」は、60歳代、70歳代、50歳代の順位で多く、50歳以上の年代を合わせると、回答者のおよそ9割（91.9%）を占める結果になった。（図3）
  - ・ 「職業」については、『その他（無職など）』と回答した人が36.1%と最も多く、次に『会社員』『専業主婦・主夫』『農林・水産業』等の順位で続く結果となった。（図4）
- ※「回答者の属性」の詳細については、資料（1）に掲載しています。

表1 回答者の町別分布

カテゴリー	度数	%
大森町	62	20.0
水上町	96	31.0
祖式町	63	20.3
大代町	89	28.7
合計	310	100.0

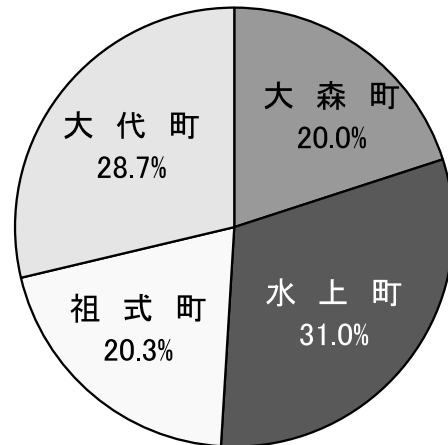


図1 回答者の町別分布

表2 回答者の性別

カテゴリー	度数	%
男性	155	50.0
女性	155	50.0
合計	310	100.0

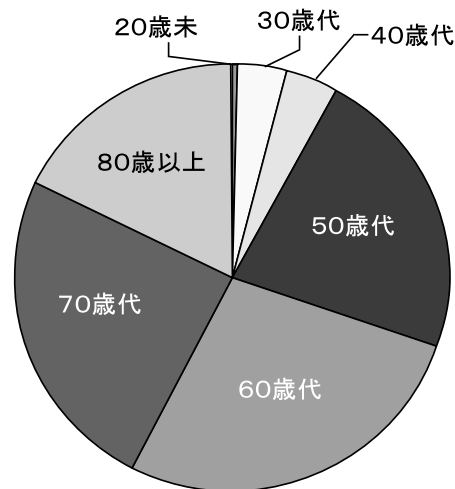


図3 回答者の年齢構成

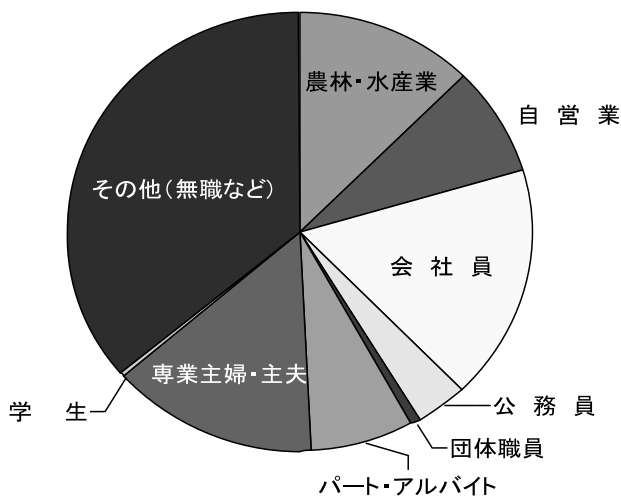


図4 回答者の職業

## 第2章 調査結果について

### 1. 高山地域4町全体の集計結果について

#### (1) 住民の地域への思いや願い、地域活動の状況について

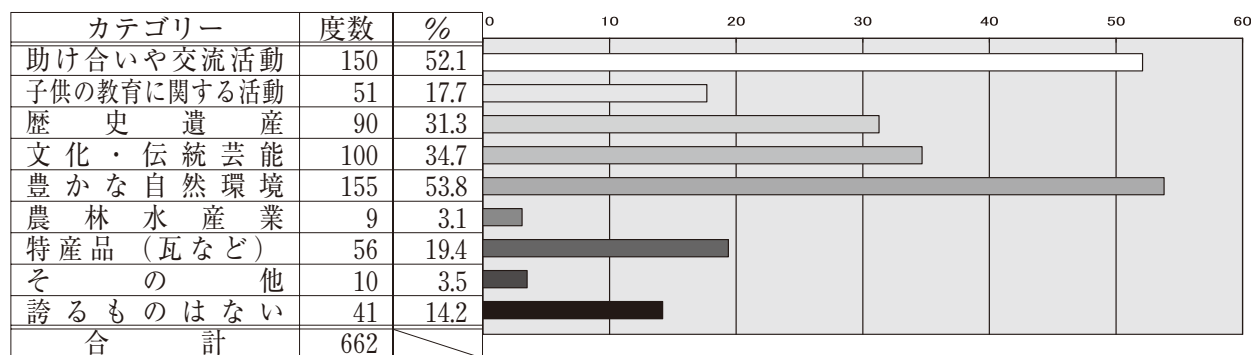
※《複数回答の場合》、Nは、有効回答者数を表す。M.T.は、全回答数÷N×100で算出し、1人の回答者が平均いくつ選択（回答）したかを%で表したものである。  
 （例えば、1人が1つ選択した場合は100%となり、1人が2つ選択した場合は200%となる。）

#### ① 地域の自慢や誇り

【質問4：あなたがお住まいの地域で、他の地域に自慢できることや、誇りに思っているものは何ですか？】（複数回答）

「豊かな自然環境」「人々の助け合いや交流活動」が上位を占めており、50%台で突出している。次に「文化・伝統芸能活動」「歴史遺産」が高く、30%台で続いている。

表・図1-1 地域の自慢や誇り（N=288 M.T.=229.9）

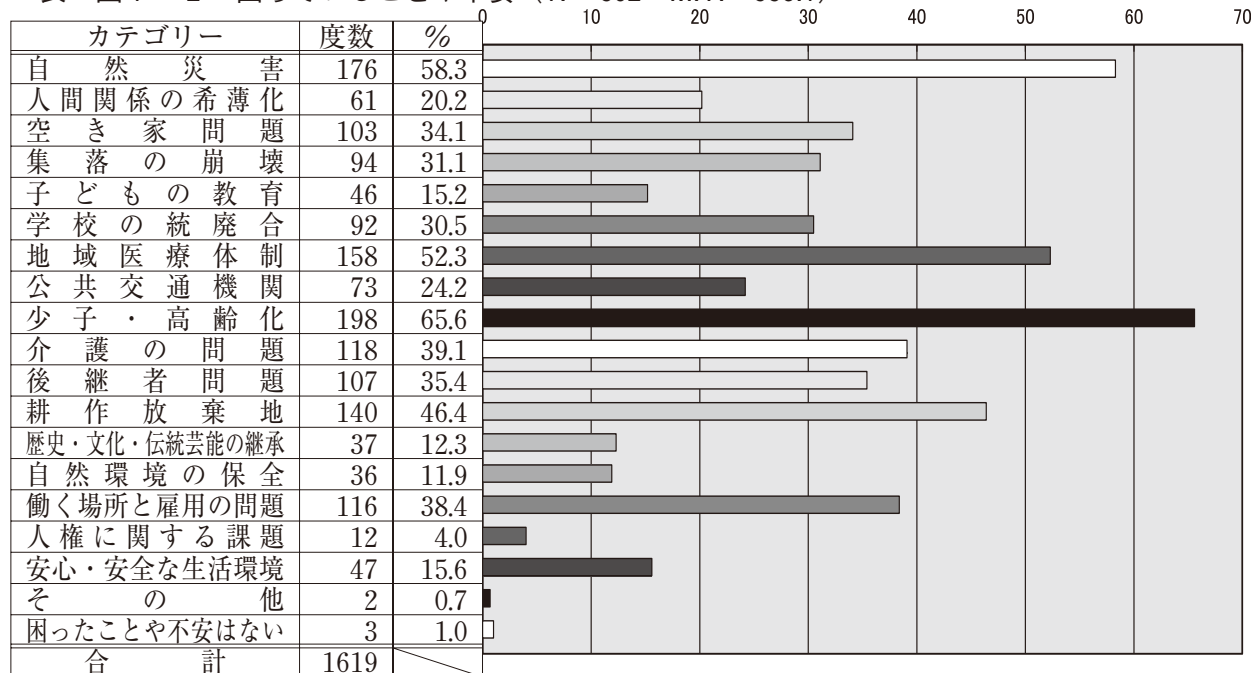


#### ② 困っていることや不安

【質問5：あなたがお住まいの地域で、今、困っていることや不安に感じていることは、何ですか？】（複数回答）

「少子・高齢化」が65.6%台で最も高く、次に「自然災害」「地域医療体制」が50%台で、「耕作放棄地」が40%台で続き、上位4位を占めている。

表・図1-2 困っていることや不安（N=302 M.T.=536.1）



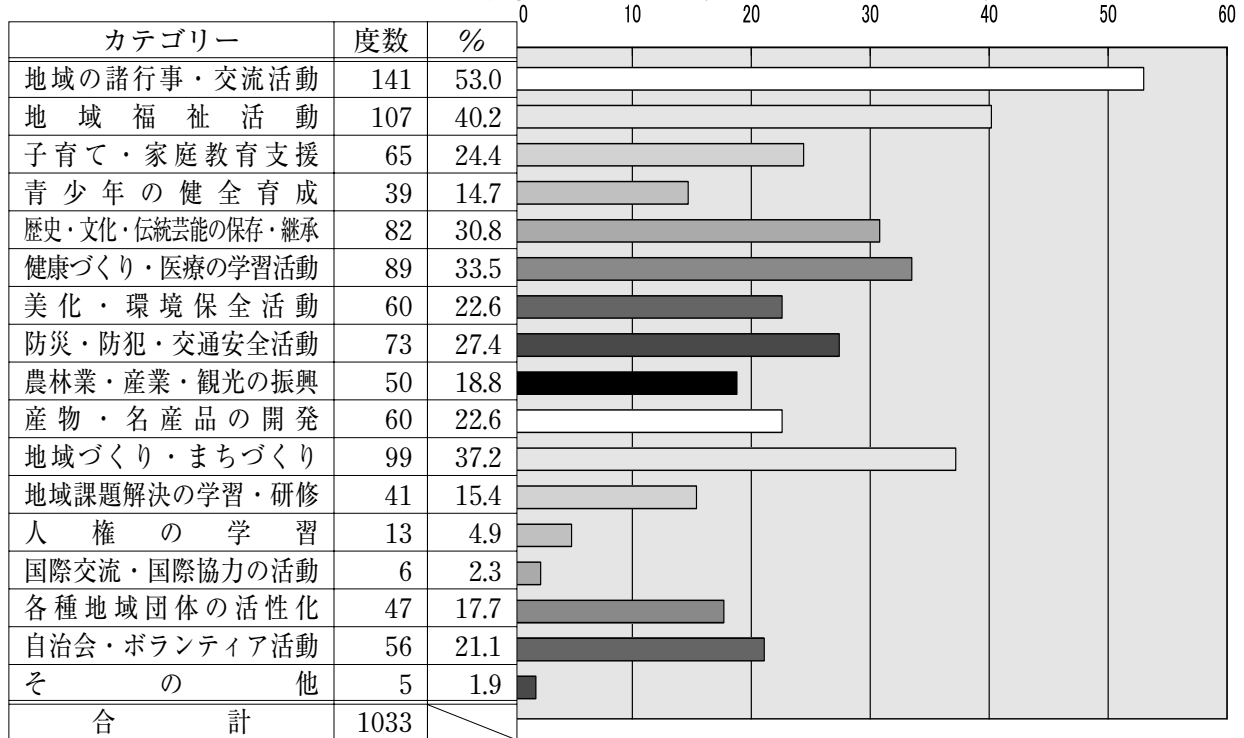


③ 地域づくりのために必要な取り組み

【質問6：今後、より良い地域づくりのために、あなたのお住まいの地域で、どのような取り組みが必要と思いますか？】（複数回答）

「地域の諸行事・交流活動」が突出して高く53.0%を占め、次に「地域福祉活動」が40.2%、以下30%台で「地域づくり・まちづくり」「健康づくり・医療に関する学習活動」「歴史・文化・伝統芸能の保存・継承活動」が、続いている。

表・図1-3 地域づくりのために必要な取り組み（N=268 M.T.=387.7）



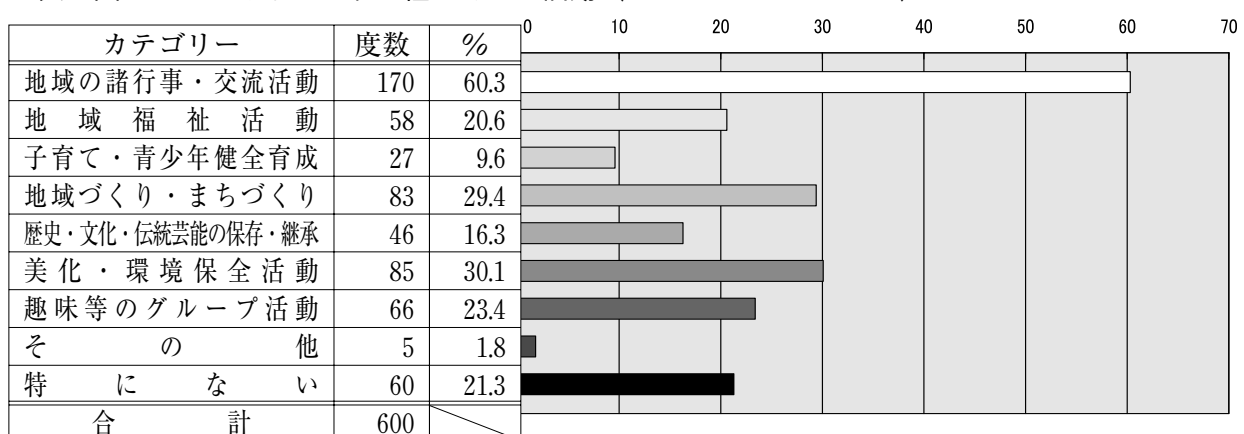
④ あなたが取り組んでいる活動

【質問7：現在、あなたは、あなたがお住まいの地域で、どのような活動にかかわったり、自ら取り組んだりしておられますか？】（複数回答）

「地域の諸行事・交流活動」が、他の選択項目の2倍以上のポイントで60.3%で高く、次に30%台で「美化・環境保全活動」「地域づくり・まちづくりのための活動」の順位で続いている。

なお、「特にない」の回答が21.3%もあり、およそ5人に1人の住民が、地域の活動に参加していないことが分かり、上記③の「必要な取り組み」と、④「実際の取り組み」との間に、差異が生じていることが見て取れる。

表・図1-4 あなたが取り組んでいる活動（N=282 M.T.=212.8）



(2) 住民の学習活動の現状と公民館事業・講座への希望について

① 事業・講座への参加の有無

【質問 8：あなたは、過去 3 年間で、高山公民館・まちづくりセンターの事業や講座に参加したことがありますか？】

「ある」が、「ない」を5.6%程わずかに上回ったが、全体の半数近くの住民が事業や講座に参加していない実態が明らかになった。「参加しない、あるいは、参加できない」住民の阻害要因となっているものは何か、今後、究明していく必要がある。

表 1-5 事業・講座への参加の有無

カテゴリー	度数	%
あ る	158	52.8
な い	141	47.2
合 計	299	100.0

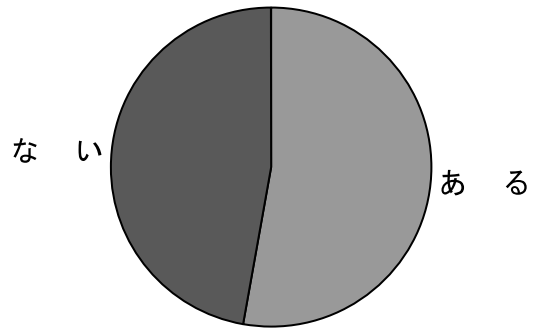


図 1-5 事業・講座への参加の有無

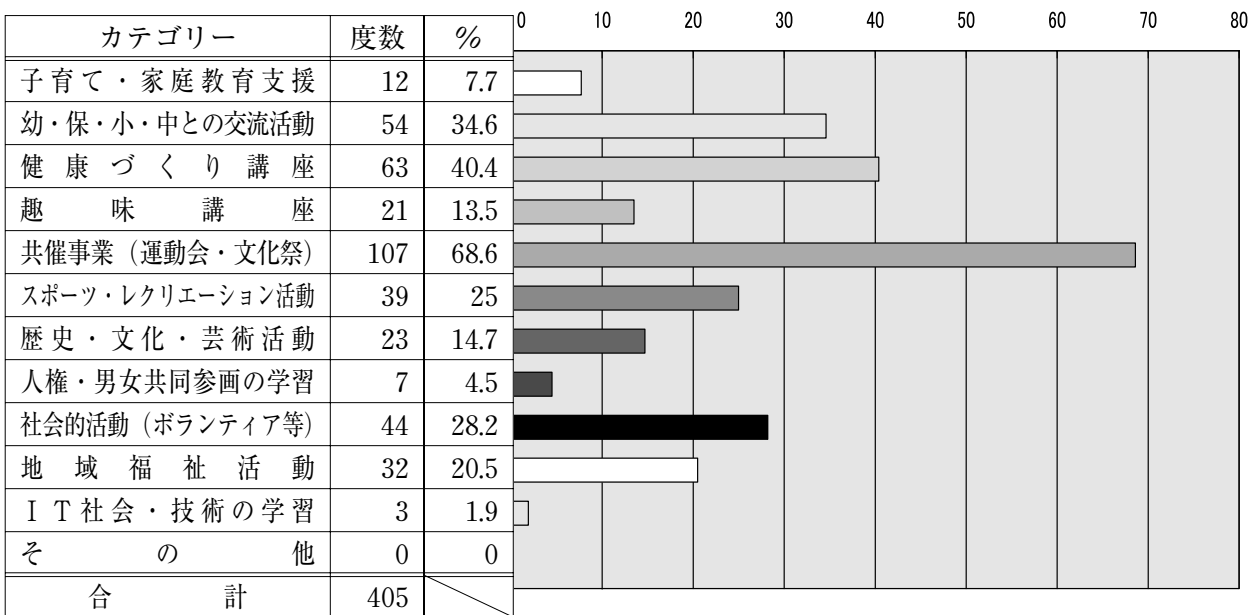
② 参加した事業・講座

【質問 9：「参加したことがある」にお答えの方におたずねします。それはどんな事業や講座でしたか？】（複数回答）

「各種団体との共催事業（運動会、文化祭など）」が68.6%と突出して高く、次に「健康づくり（健康法、医療など）」が40%台、「保・幼・小・中学校との交流活動」が30%台で、「社会的活動（ボランティア活動、地域活動）」「スポーツ・レクリエーション活動」が20%台で続く結果となった。

回答数の多い項目を見ると、地域全体に関わる行事、あるいは、グループでお互いに誘い合って気軽に参加できる事業・講座や活動が、高い比率になっている。

表・図 1-6 参加した事業・講座（N=156 M.T.=260.3）

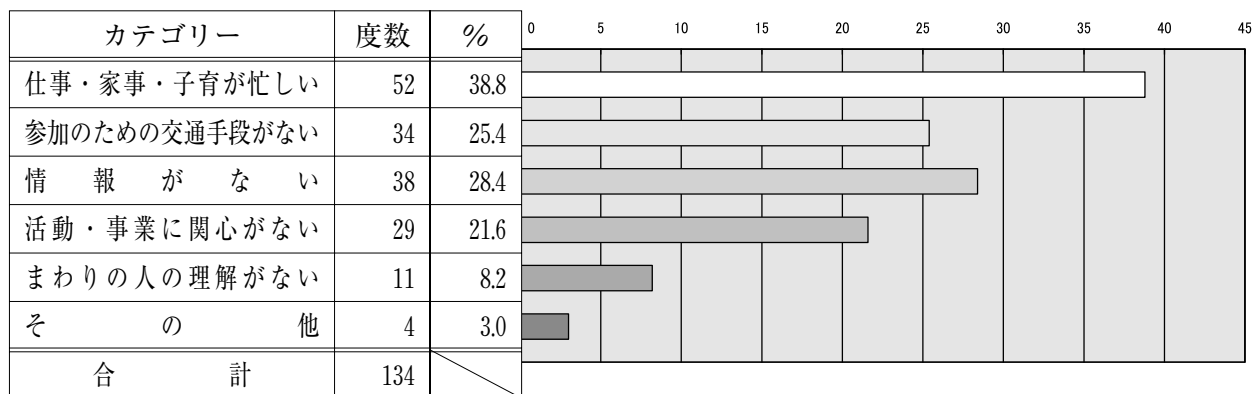


③ 不参加の理由

【質問10：「参加したことがない」とお答えの方におたずねします。それはどんな理由で参加することができませんでしたか？】（複数回答）

「仕事や家事、子育てが忙しい」が38.8%で最も高く、次に20%台で「情報が無い」「参加するための交通手段が難しい」「活動・事業に関心がない」の順位が続いている。

表・図1-7 不参加の理由（N=138 M.T.=127.5）



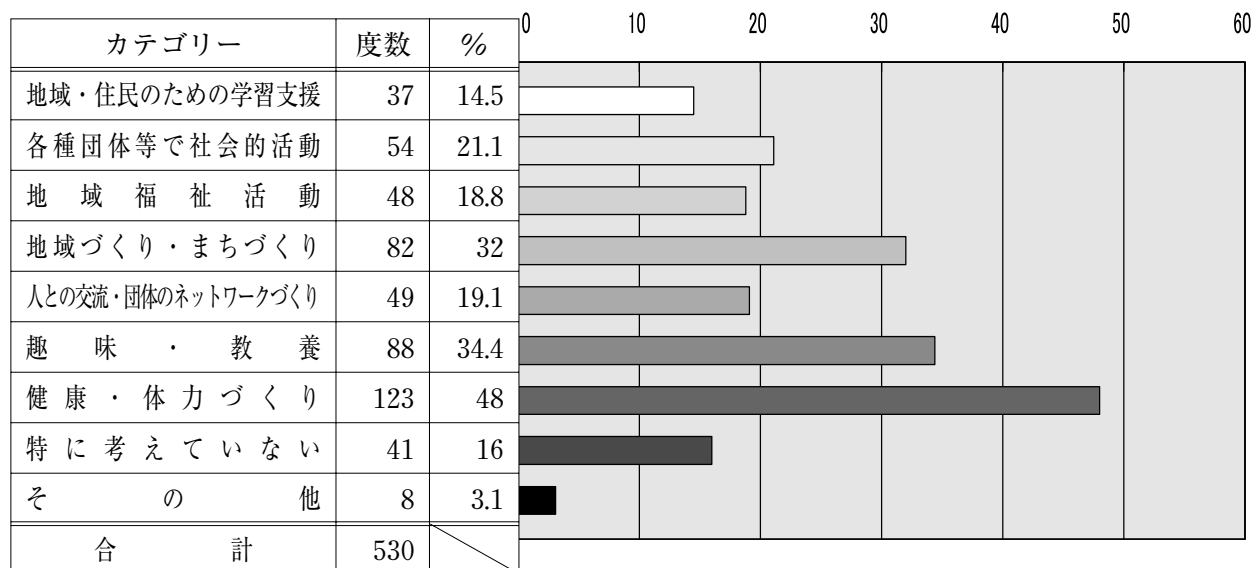
④ 学習や活動の活用

【質問11：あなたは、学習や活動をとおして学んだことをどのように活かしていますか？または、これからどのように活かしてみたいと思っていますか？】（複数回答）

多くの住民が関心を持つ「自分の健康や体力づくりに活かす」が48.0%と最も高く、次に30%台で「趣味や教養を高め、人生を楽しく豊かにする」「地域づくり・まちづくりに活かす」が続く、さらに「各種団体等の身近な社会的活動に活かす」が20%台で続いている。20%以下では、「人との交流や団体のネットワークづくりに活かす」「地域福祉活動に活かす」等が続いている。

上位の1、2位が「個人に関係すること」、3位以下が「地域全体や諸団体の活動に関係すること」となり、学習や活動の活用の特徴的な傾向を示している。

表・図1-8 学習や活動の活用（N=256 M.T.=207.0）



⑤ 公民館事業・活動への希望

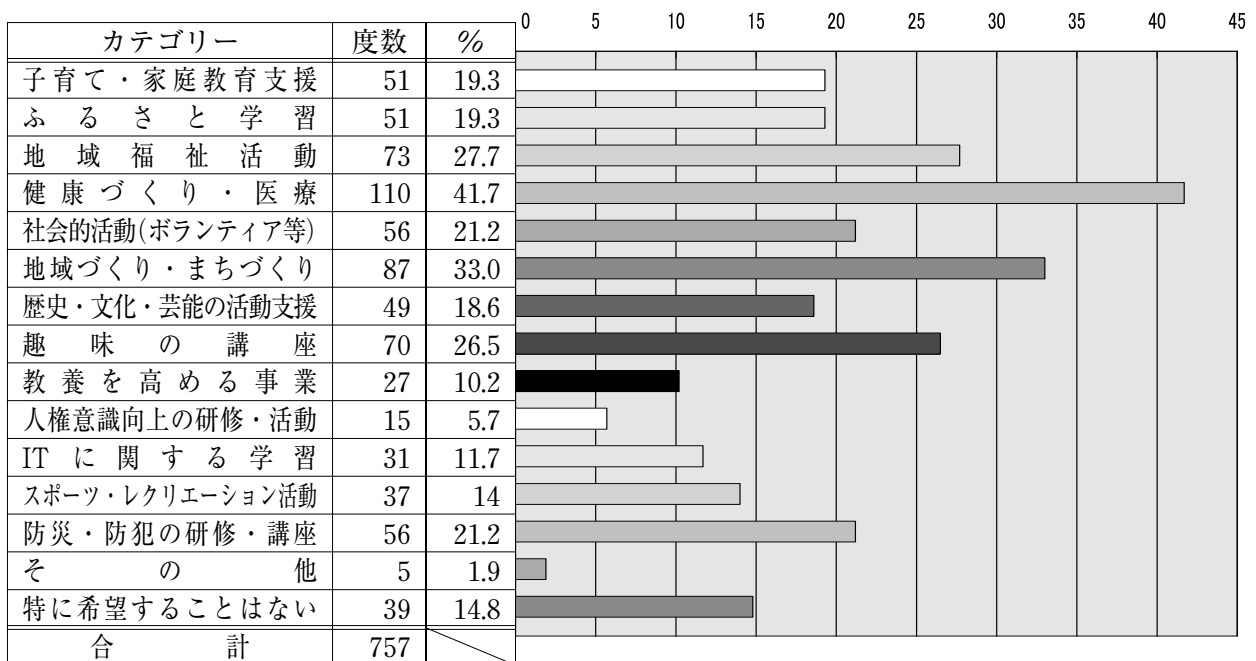
【質問12：あなたは、今後、高山公民館にどのような事業や活動を希望しますか？】（複数回答）

分析の結果、「健康づくり・医療に関する事業」が41.7%で最も希望が高かった。次に、「地域づくり・まちづくりのための学習や活動」が33.0%、「地域福祉活動に関する事業」が27.7%となった。

そして、4位には「趣味の講座」が26.5%となり、以下「社会的活動（ボランティア活動・地域活動）に関する事業」と「防災・防犯に関する研修や講座」が、ともに21.2%で、「子育て・家庭教育支援」「ふるさと学習」「歴史・文化・芸能の支援活動」が19%前後で続く結果になった。

これらの結果から、地域住民の個人の要望も、また、「地域づくり」や「地域福祉」等の地域全体に関わる事業や活動に寄せる期待もともに大きいことが分かる。

表・図3-5 公民館事業・活動への希望（M=254 M.T.=298.0）



一方、「特に希望することはない」が14.8%あり、その回答の背景には大田市が平成21年度から現体制の高山地域（4町）に新たに1館という公民館の配置としたため、各町にあるまちづくりセンター（平成20年度までの旧公民館）設置だけで十分ではないか、という考え方が反映されているのではないかとと思われる。

また、公民館は、対象エリアが各町のまちづくりセンターと違い広域（ブロック）であるがために、住民に身近な存在でないことや、設置されて4年目ということもあって住民の認知度はまだ低く、「公民館が地域住民のためにこれから何をしてくれるのか？いったい何をしようとしているのか？」という期待と疑問の両方が生じていると考えられる。

## 2. 高山地域4町別の集計結果について

### (1) 住民の地域への思いや願い、地域活動の状況について

#### ① 地域の自慢や誇り

【質問4：あなたがお住まいの地域で、他の地域に自慢できることや、誇りに思っているものは何ですか?】（複数回答）

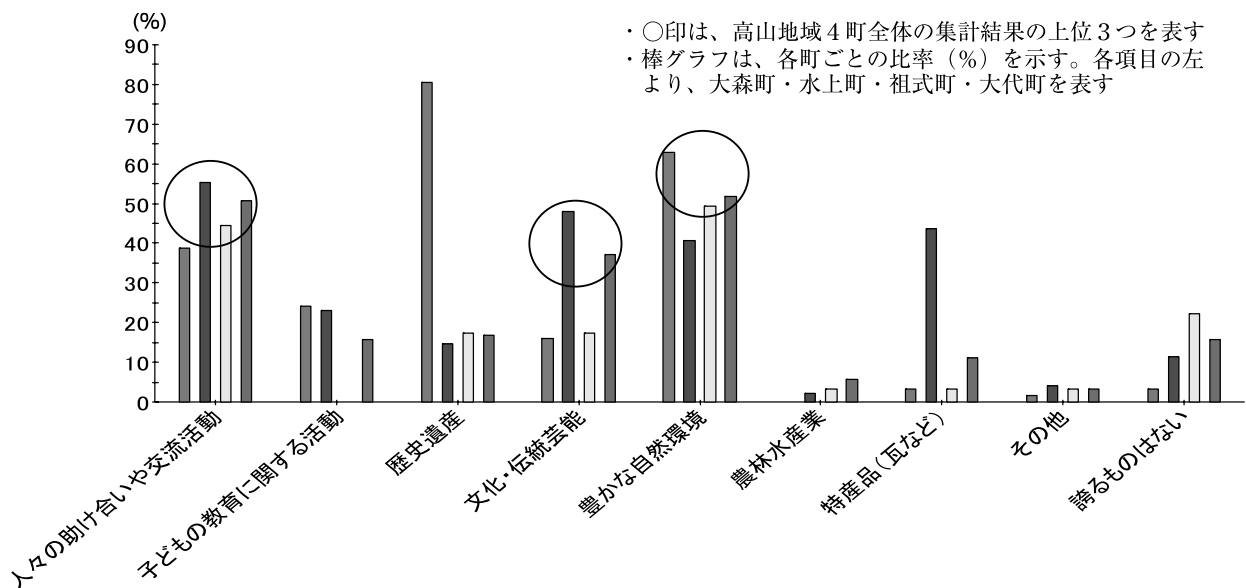
全体集計結果では、「豊かな自然環境」「地域の人々の助け合いや交流活動」の二つが50%台で突出して高く、次に「文化・伝統芸能」「歴史遺産」30%台で、「特産品（瓦など）」「子どもの教育に関する活動」「農林・水産業」が続く結果となっている。

町別に分析すると、各町で選択された上位の三つには、大森町では「歴史遺産」80.6%、「豊かな自然環境」62.9%、「人々の助け合いや交流活動」38.7%となり、水上町では「人々の助け合いや交流活動」55.2%、「文化・伝統芸能」47.9%、「特産品（瓦など）」43.8%、祖式町では「豊かな自然環境」49.2%、「人々の助け合いや交流活動」44.4%、「文化・伝統芸能」・「歴史遺産」17.5%、大代町では「豊かな自然環境」51.7%、「人々の助け合いや交流活動」50.6%、「文化・伝統芸能」37.1%となっている。

この結果から、4町の上位には共通して「豊かな自然環境」「人々の助け合いや交流活動」が挙がり、町別の特徴では大森町は「歴史遺産」が、水上町は「特産品（瓦など）」が他町に比べ際立って高くなっている。そして、水上町・大代町・祖式町の「文化・伝統芸能」が、次に続いている。

表・図2-1 自慢や誇り（町別）

	合計	人々の助け合いや交流	子どもの教育に関する活動	歴史遺産	文化・伝統芸能	豊かな自然環境	農林水産業	特産品(瓦など)	その他	誇るものはない
度数(人)	288	150	51	90	100	155	9	56	10	41
比率(%)	100.0	52.1	17.7	31.3	34.7	53.8	3.1	19.4	3.5	14.2
大森町	62	24	15	50	10	39	0	2	1	2
	100.0	38.7	24.2	80.6	16.1	62.9	0	3.2	1.6	3.2
水上町	96	53	22	14	46	39	2	42	4	11
	100.0	55.2	22.9	14.6	47.9	40.6	2.1	43.8	4.2	11.5
祖式町	63	28	0	11	11	31	2	2	2	14
	100.0	44.4	0	17.5	17.5	49.2	3.2	3.2	3.2	22.2
大代町	89	45	14	15	33	46	5	10	3	14
	100.0	50.6	15.7	16.9	37.1	51.7	5.6	11.2	3.4	15.7



② 困っていることや不安

【質問5：あなたがお住まいの地域で、今、困っていることや不安に感じていることは、何ですか？】（複数回答）

全体集計結果では、「少子・高齢化」が60%台で最も高く、次に「自然災害」、「地域医療体制」が50%台で、「耕作放棄地」が40%台で続く結果となっている。

町別の分析結果では、次ページ（表・図2-2）のように、各町で選択された上位の三つに、大森町では「自然災害」64.5%、「少子高齢化」61.3%、「地域医療体制」46.8%が、水上町では「少子高齢化」60.4%、「自然災害」54.2%、「耕作放棄地」46.9%が、祖式町では「少子高齢化」68.3%、「耕作放棄地」63.5%、「自然災害」58.7%が、大代町では「少子高齢化」66.3%、「地域医療体制」60.7%、「自然災害」52.8%が挙がっている。

それらの結果を考察すると、各町の順位と項目に若干の違いはあるものの、「少子・高齢化」「自然災害」「地域医療体制」は、4町に共通した相当に深刻な地域課題であることが分かる。

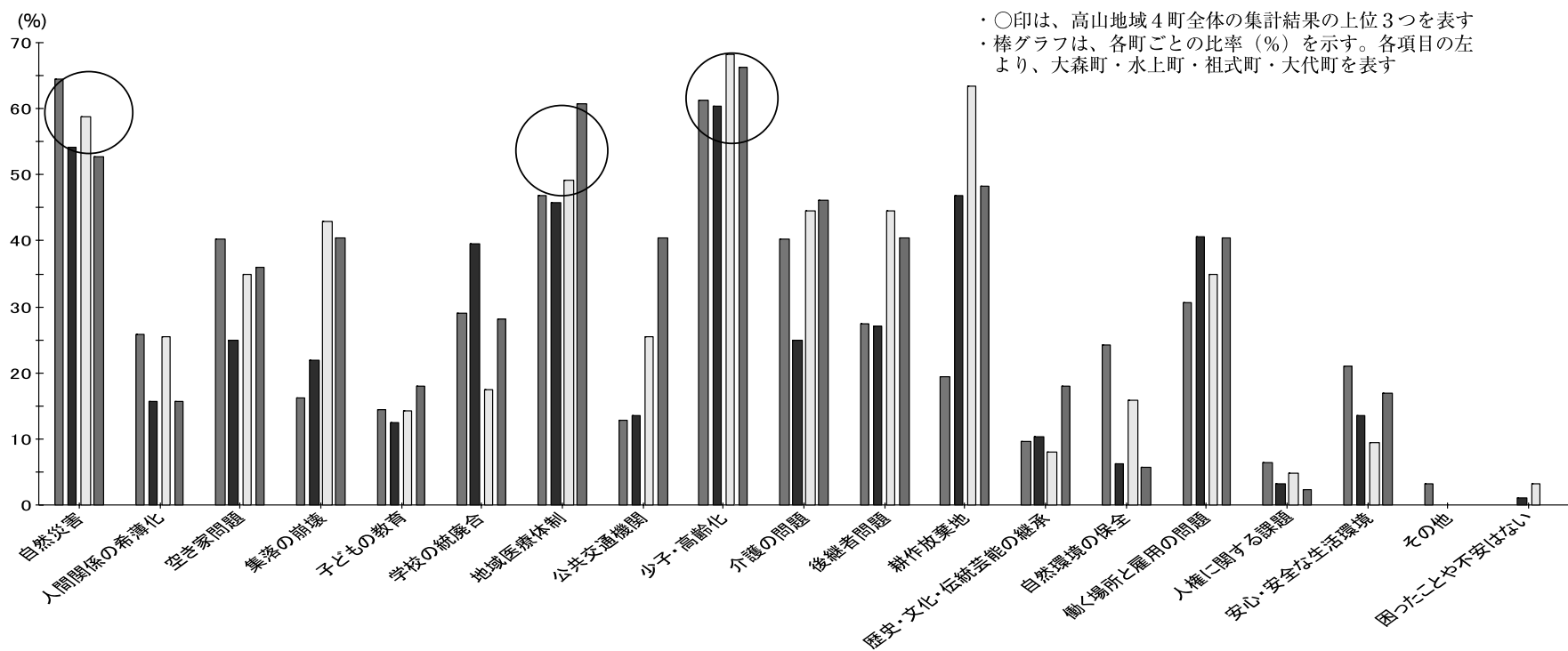
続いて、各町の上位項目としては、水上町・祖式町・大代町の3町が「耕作放棄地」を40～60%台で、大森町・祖式町・大代町が「介護の問題」を40%台で、4町全てが「働く場所と雇用の問題」「空き家問題」を30～40%台で選択している。

そこで、他町に比べ特に比率が高かったものに着目してみると、大森町は「自然災害」が、水上町は「学校の統廃合」が、祖式町は「耕作放棄地」が、大代町は「地域医療体制」が挙がり、各町が抱えている深刻な課題であることが見えてくる。

このことから、まず公民館として取り組むべきことは、地域住民にこの現状を正しく認識してもらい、言い換えれば「地域づくりのための同じスタートラインについてもらう」ことから始め、そこからこの課題解決に向け、どう取り組んでいくべきかを「論議する場（世論の醸成）」や「学習機会」を積極的に提供していくことに努めなければならないと捉えている。

表・図2-2 困っていることや不安（町別）

	合計	自然災害	人間関係の希薄化	空き家問題	集落の崩壊	子どもの教育	学校の統合	地域医療体制	公共交通機関	少子・高齢化	介護の問題	後継者問題	耕作放棄地	歴史・文化・伝統芸術の継承	自然環境の保全	働く場所と雇用の問題	人権に関する課題	安心・安全な生活環境	その他	困ったことや不安はない
度数(人)	302	176	61	103	94	46	92	158	73	198	118	107	140	37	36	116	12	47	2	3
比率(%)	100.0	58.3	20.2	34.1	31.1	15.2	30.5	52.3	24.2	65.6	39.1	35.4	46.4	12.3	11.9	38.4	4.0	15.6	0.7	1
大森町	62	40	16	25	10	9	18	29	8	38	25	17	12	6	15	19	4	13	2	0
	100.0	64.5	25.8	40.3	16.1	14.5	29.0	46.8	12.9	61.3	40.3	27.4	19.4	9.7	24.2	30.6	6.5	21.0	3.2	0
水上町	96	52	15	24	21	12	38	44	13	58	24	26	45	10	6	39	3	13	0	1
	100.0	54.2	15.6	25.0	21.9	12.5	39.6	45.8	13.5	60.4	25.0	27.1	46.9	10.4	6.3	40.6	3.1	13.5	0	1
祖式町	63	37	16	22	27	9	11	31	16	43	28	28	40	5	10	22	3	6	0	2
	100.0	58.7	25.4	34.9	42.9	14.3	17.5	49.2	25.4	68.3	44.4	44.4	63.5	7.9	15.9	34.9	4.8	9.5	0	3.2
大代町	89	47	14	32	36	16	25	54	36	59	41	36	43	16	5	36	2	15	0	0
	100.0	52.8	15.7	36.0	40.4	18.0	28.1	60.7	40.4	66.3	46.1	40.4	48.3	18.0	5.6	40.4	2.2	16.9	0	0



③ 地域づくりのために必要な取り組み

【質問6：今後、より良い地域づくりのために、あなたのお住まいの地域で、どのような取り組みが必要と思いますか？】（複数回答）

全体集計結果では、「地域の諸行事・交流活動」が最も高く、次に「地域福祉活動」「地域づくり・まちづくり」「健康づくり・医療に関する学習活動」「歴史・文化・伝統芸能の保存・継承活動」が続く結果になっている。

町別の分析では、下記（表・図2-3）のとおりとなった。各町別に上位のものを挙げると、大森町では「地域の諸行事・交流活動」51.6%、「地域づくり・まちづくり」33.9%、「美化・環境保全活動」・「防災・防犯・交通安全活動」30.6%となり、水上町では「地域の諸行事・交流活動」46.9%、「地域福祉活動」36.5%、「地域づくり・まちづくり」34.4%、祖式町では「地域の諸行事・交流活動」42.9%、「地域福祉活動」38.1%、「健康づくり・医療に関する学習活動」36.5%、大代町では「地域の諸行事・交流活動」41.6%、「地域福祉活動」33.7%、「健康づくり・医療に関する学習活動」29.2%となった。

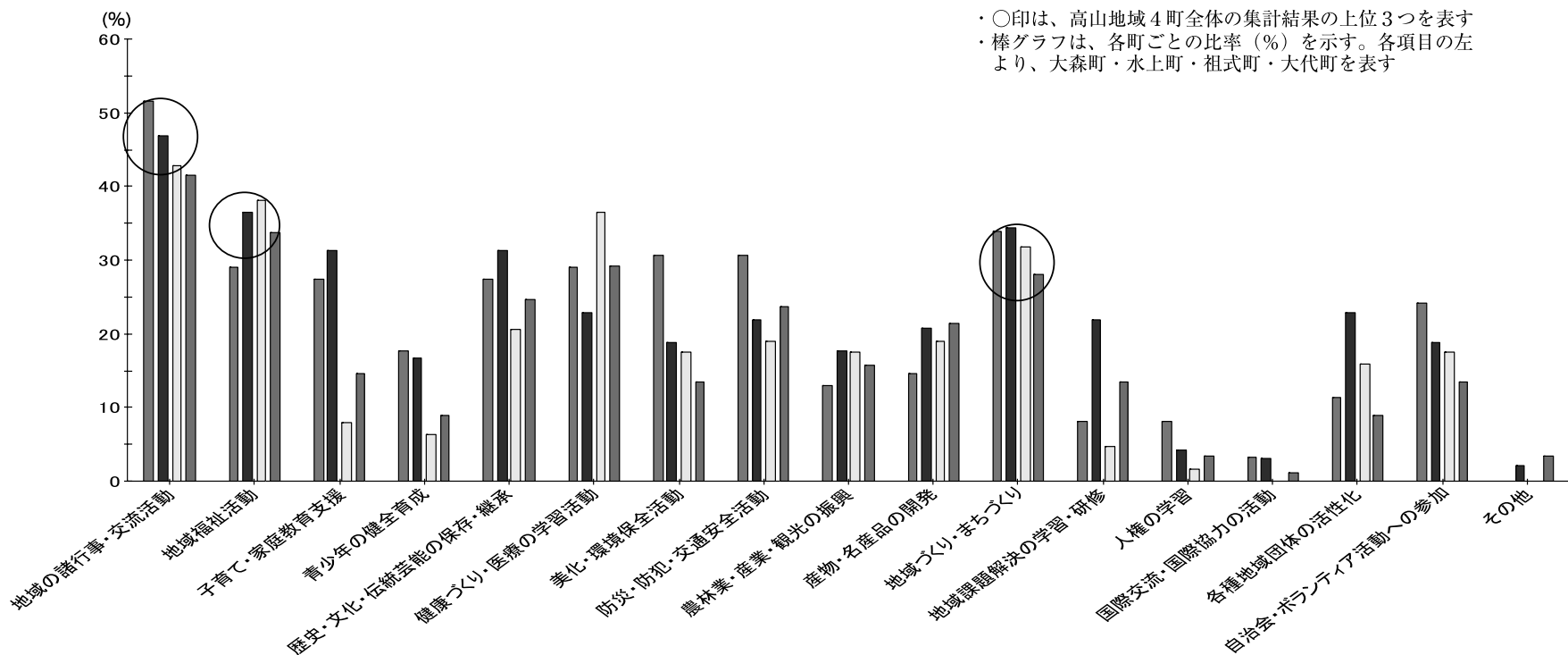
4町共通して、地域づくりに最も必要として選択されたものは、「地域の諸行事・交流活動」の40～50%台であった。そして、次に水上町・祖式町・大代町の3町での「地域福祉活動」が30%台で、4町共通で「地域づくり・まちづくり」が20～30%台で続く結果となった。

また、祖式町・大代町の2町の3位に「健康づくり・医療に関する学習活動」が同じく20～30%台で、大森町の3位に「美化・環境保全活動」・「防災・防犯・交通安全活動」が30%台で、水上町の4位に「子育て・家庭教育」・「歴史・文化・伝統芸能の保存・継承」が同じく30%台で続いているのも、今日まで各町が継続して熱心に取り組んできた実績の現れでもあり、特徴的な傾向と言える。



表・図2-3 地域づくりに必要な取り組み（町別）

	合計	地域の諸行事・交流活動	地域福祉活動	子育て・教育支援	青少年の健全育成	歴史・文化・伝統芸能の保存・継承	健康づくり・医療の学習活動	美化・環境保全活動	防災・防犯・交通安全活動	農林業・産業・観光の振興	産物・名産品の開発	地域づくり・まちづくり	地域課題解決の学習・研修	人権の学習	国際交流・国際協力の活動	各種地域団体の活性化	自治会・ボランティア活動への参加	その他
度数(人)	266	141	107	65	39	82	89	60	73	50	60	99	41	13	6	47	56	5
比率(%)	100.0	53.0	40.2	24.4	14.7	30.8	33.5	22.6	27.4	18.8	22.6	37.2	15.4	4.9	2.3	17.7	21.1	1.9
大森町	62	32	18	17	11	17	18	19	19	8	9	21	5	5	2	7	15	0
	100.0	51.6	29.0	27.4	17.7	27.4	29.0	30.6	30.6	12.9	14.5	33.9	8.1	8.1	3.2	11.3	24.2	0
水上町	96	45	35	30	16	30	22	18	21	17	20	33	21	4	3	22	18	2
	100.0	46.9	36.5	31.3	16.7	31.3	22.9	18.8	21.9	17.7	20.8	34.4	21.9	4.2	3.1	22.9	18.8	2.1
祖式町	63	27	24	5	4	13	23	11	12	11	12	20	3	1	0	10	11	0
	100.0	42.9	38.1	7.9	6.3	20.6	36.5	17.5	19.0	17.5	19.0	31.7	4.8	1.6	0	15.9	17.5	0
大代町	89	37	30	13	8	22	26	12	21	14	19	25	12	3	1	8	12	3
	100.0	41.6	33.7	14.6	9.0	24.7	29.2	13.5	23.6	15.7	21.3	28.1	13.5	3.4	1.1	9.0	13.5	3.4



④ あなたが取り組んでいる活動

【質問7：現在、あなたは、あなたがお住まいの地域で、どのような活動にかかわったり、自ら取り組んだりしておられますか？】（複数回答）

全体集計結果では、上位に「地域の諸行事・交流活動」が他項目の2倍以上の60%台で最も高く、次に「美化・環境保全活動」「地域づくり・まちづくりのための活動」が30%前後で続く結果となっている。

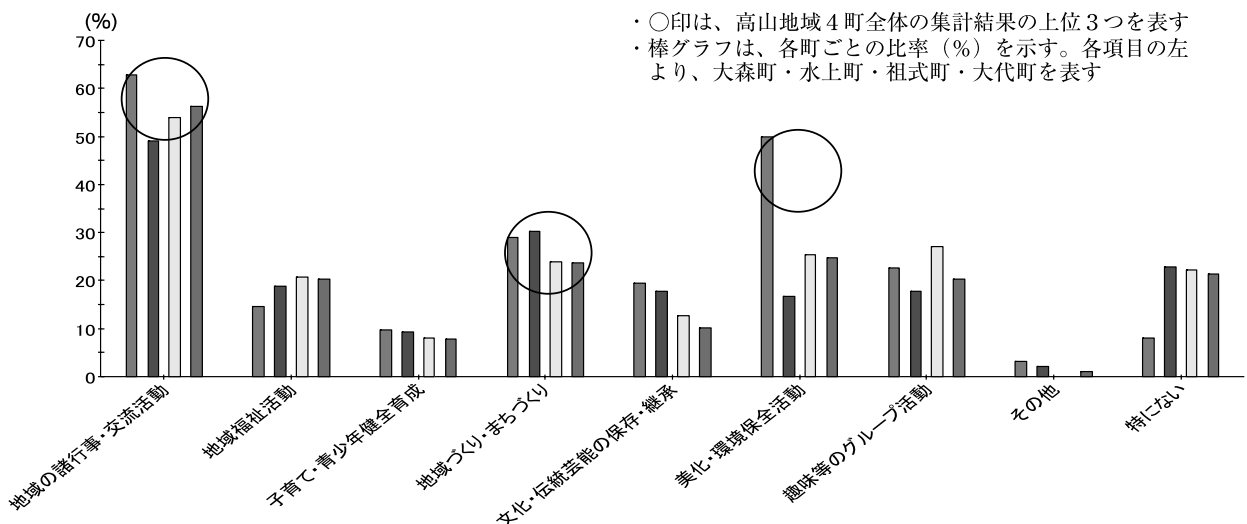
また、「特にない」が21.3%とあり、回答者の5人に1人の割合でいる実態も見える。

町別では、各町の選択の上位には、大森町では「地域の諸行事・交流活動」62.9%、「美化・環境保全活動」50.0%となり、水上町が「地域の諸行事・交流活動」49.0%、「地域づくり・まちづくり」30.2%、祖式町が「地域の諸行事・交流活動」54.0%、「趣味等のグループ活動」27.0%、大代町が「地域の諸行事・交流活動」56.2%、「美化・環境保全活動」24.7%が挙げられている。

4町全てに共通しているものは、「地域の諸行事・交流活動」が40～60%台で、「地域づくり・まちづくり」が20～30%台である。また、「美化・環境保全活動」は大森町が50.0%台で最も高く、次に祖式町・大代町が20%台で続いている。大森町は、世界遺産を擁する中心の町でもあり、「美化・環境保全活動」には地域住民あがて早い時期から取り組んできたことが、この比率の高さに表れている。また、「特にない」は、水上町・祖式町・大代町が20%台の結果になっている。

表・図2-4 取り組んでいる活動（町別）

	合計	地域の諸行事・交流活動	地域福祉活動	子育て・青少年健全育成	地域づくり・まちづくり	歴史・文化・伝統芸能の保存・継承	美化・環境保全活動	趣味等のグループ活動	その他	特にない
度数(人)	282	170	58	27	83	46	85	66	5	60
比率(%)	100	60.3	20.6	9.6	29.4	16.3	30.1	23.4	1.8	21.3
大森町	62	39	9	6	18	12	31	14	2	5
	100	62.9	14.5	9.7	29.0	19.4	50.0	22.6	3.2	8.1
水上町	96	47	18	9	29	17	16	17	2	22
	100	49.0	18.8	9.4	30.2	17.7	16.7	17.7	2.1	22.9
祖式町	63	34	13	5	15	8	16	17	0	14
	100	54.0	20.6	7.9	23.8	12.7	25.4	27.0	0	22.2
大代町	89	50	18	7	21	9	22	18	1	19
	100	56.2	20.2	7.9	23.6	10.1	24.7	20.2	1.1	21.3



(2) 住民の学習活動の現状と公民館事業・講座への希望について

① 事業・講座への参加の有無

【質問8：あなたは、過去3年間、高山公民館・まちづくりセンターの事業や講座に参加したことがありますか？】（複数回答）

全体集計結果では、「ある」が「ない」をわずかに上回ったが、半数近く（47.2%）の回答者が参加したことが「ない」と答えている。

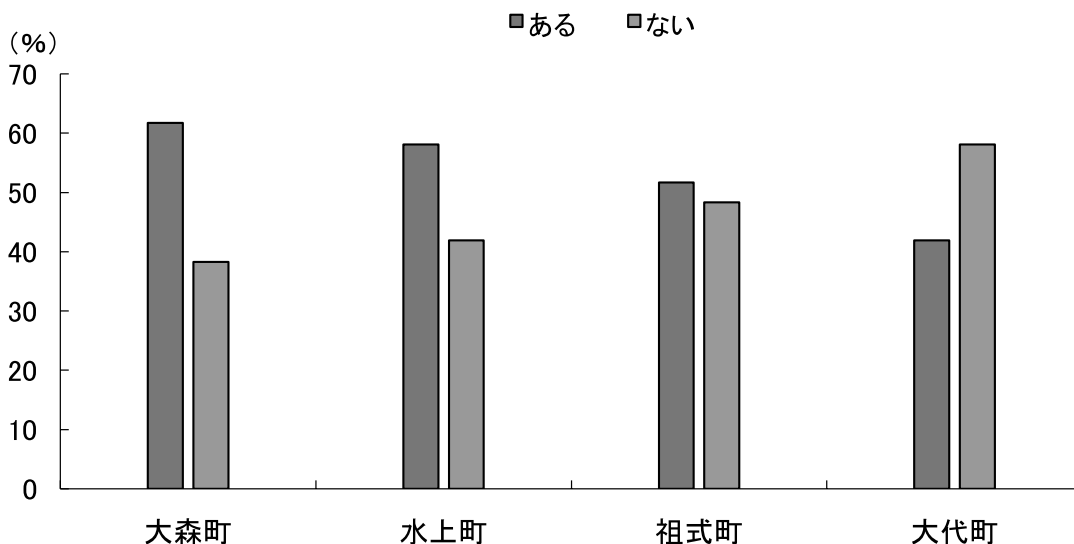
町別に比率を比較すると、大森町60人中、「ある」37人（61.7%）、「ない」23人（38.3%）で、「ある」が「ない」と比べ+23.4%となり、以下、水上町93人中、「ある」54人（58.1%）、「ない」39人（41.9%）で、+16.2%となり、祖式町60人中、「ある」31人（51.7%）、「ない」29人（48.3%）で、+3.4%となり、大代町86人中、「ある」36人（41.9%）、「ない」50人（58.1%）で、-16.2%という結果になった。

今後、公民館としてもこの現状を真摯に受け止め、参加したことが「ない」と回答された皆さんが、参加してみたいと思うような魅力のある事業や講座、そして、地域から要請のある課題解決のための研修会の開設に努力しなければならないと考えている。

また、参加したことが「ない」と回答した皆さんの理由については、（P.16③「不参加の理由」）で詳しく述べることとする。

表・図2-5 事業・講座への参加の有無（町別）

	合計	ある	ない
度数(人)	299	158	141
比率(%)	100.0	52.8	47.2
大森町	60	37	23
	100.0	61.7	38.3
水上町	93	54	39
	100.0	58.1	41.9
祖式町	60	31	29
	100.0	51.7	48.3
大代町	86	36	50
	100.0	41.9	58.1



② 参加した事業・講座

【質問9：「参加したことがある」にお答えの方におたずねします。それはどんな事業や講座でしたか？】（複数回答）

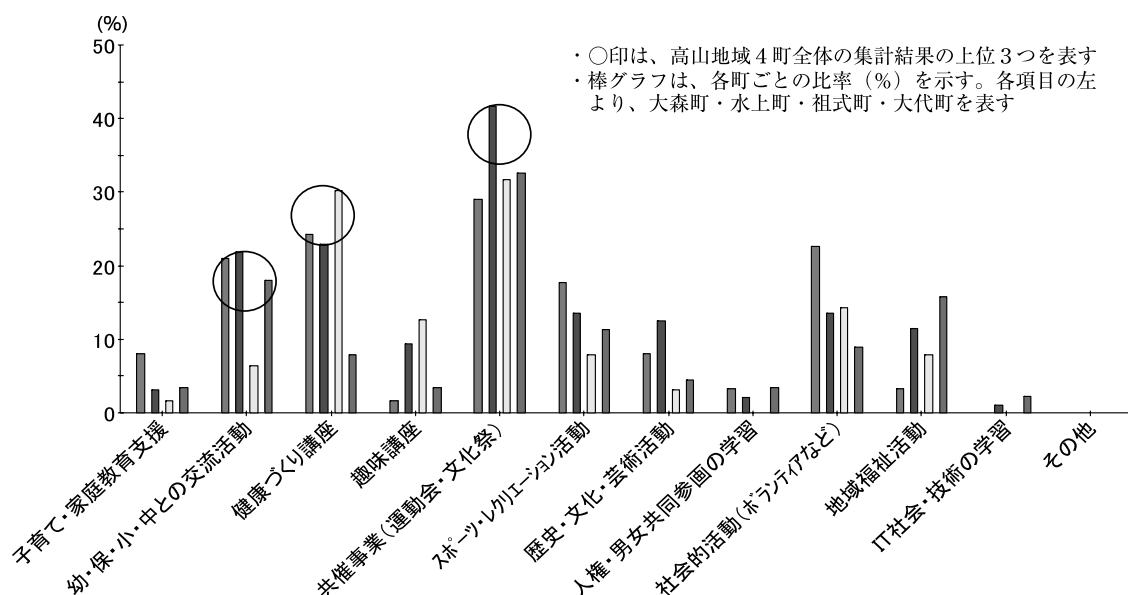
全体集計結果の上位には、「各種団体との共催事業（運動会、文化祭など）」が60%台で最も高く、次に、「健康づくり（健康法、医療など）」「保・幼・小・中学校との交流活動」が30～40%台で続く結果になっている。

町別に比較すると、各町の上位には、大森町が「共催事業（運動会・文化祭）」29.0%、「健康づくり講座」24.2%、「社会的活動（ボランティアなど）」22.6%となり、水上町は「共催事業」41.7%、「健康づくり講座」22.9%、「幼・保・小・中との交流活動」21.9%、祖式町は「共催事業」31.7%、「健康づくり講座」30.2%、「社会的活動（ボランティアなど）」14.3%、大代町は「共催事業」32.6%、「幼・保・小・中との交流活動」18.0%、「地域福祉活動」15.7%となった。

他町に比べ比率が高かったものは、水上町の「共催事業」、祖式町の「健康づくり講座」、大森町の「社会的活動（ボランティアなど）」、大代町の「地域福祉活動」が挙げられ、長年にわたりまちづくりセンター・各種団体を中心に各町において熱心に取り組まれてきたことがうかがえる。

表・図2-6 参加した事業・講座（町別）

	合計	子育て・家庭教育支援	幼・保・小・中との交流活動	健康づくり講座	趣味講座	共催事業（運動会・文化祭）	スポーツ・レクリエーション活動	歴史・文化・芸術活動	人権・男女共同参画の学習	社会的活動（ボランティアなど）	地域福祉活動	IT社会・技術の学習	その他
度数(人)	156	12	54	63	21	107	39	23	7	44	32	3	0
比率(%)	100.0	7.7	34.6	40.4	13.5	68.6	25.0	14.7	4.5	28.2	20.5	1.9	0
大森町	62	5	13	15	1	18	11	5	2	14	2	0	0
	100.0	8.1	21.0	24.2	1.6	29.0	17.7	8.1	3.2	22.6	3.2	0	0
水上町	96	3	21	22	9	40	13	12	2	13	11	1	0
	100.0	3.1	21.9	22.9	9.4	41.7	13.5	12.5	2.1	13.5	11.5	1.0	0
祖式町	63	1	4	19	8	20	5	2	0	9	5	0	0
	100.0	1.6	6.3	30.2	12.7	31.7	7.9	3.2	0	14.3	7.9	0	0
大代町	89	3	16	7	3	29	10	4	3	8	14	2	0
	100.0	3.4	18.0	7.9	3.4	32.6	11.2	4.5	3.4	9.0	15.7	2.2	0



③ 不参加の理由

【質問10：「参加したことがない」とお答えの方におたずねします。それはどんな理由で参加することができませんでしたか？】（複数回答）

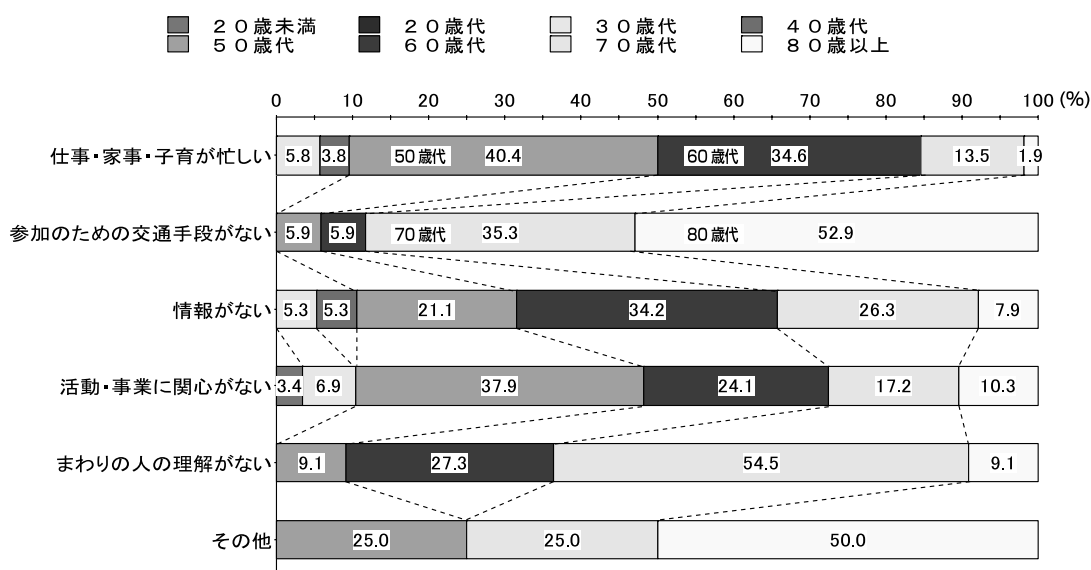
全体集計結果の上位には、「仕事・家事・子育てが忙しい」が38.8%で不参加理由として最も高く、「情報がない」「交通手段がない」「活動・事業に関心がない」が20%台で続く結果になっている。

年齢別で、上位になっているものは、50歳代では「仕事・家事・子育てが忙しい」40.4%、「活動や事業に関心がない」37.9%、「情報がない」が21.1%となり、60歳代では「仕事・家事・子育てが忙しい」34.6%、「情報がない」が34.2%、「まわりの人の理解がない」が27.3%となり、70歳代では「まわりの人の理解がない」が54.5%、「参加のための交通手段がない」26.3%が挙げられた。80歳代では、他の理由に比べ「参加のための交通手段がない」52.9%が圧倒的に高くなる結果になった。

「仕事・家事・子育てが忙しい」「まわりの人の理解がない」については、具体的な対応策は難しいが、「参加のための交通手段がない」「情報がない」については、今後の公民館事業や活動を計画する上で、これらに配慮した計画を立てていく必要があると考える。

表・図2-7 不参加の理由（年齢別）

	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
度数（人）	134	2	0	11	12	69	84	77	55
比率（％）	100.0	1.5	0	8.2	9.0	51.5	62.7	57.5	41.0
仕事・家事・子育てが忙しい	52	0	0	3	2	21	18	7	1
	100.0	0	0	5.8	3.8	40.4	34.6	13.5	1.9
参加のための交通手段がない	34	0	0	0	0	2	2	12	18
	100.0	0	0	0	0	5.9	5.9	35.3	52.9
情報がない	38	0	0	2	2	8	13	10	3
	100.0	0	0	5.3	5.3	21.1	34.2	26.3	7.9
活動・事業に関心がない	29	1	0	2	0	11	7	5	3
	100.0	3.4	0	6.9	0	37.9	24.1	17.2	10.3
まわりの人の理解がない	11	0	0	0	0	1	3	6	1
	100.0	0	0	0	0	9.1	27.3	54.5	9.1
その他	4	0	0	0	0	1	0	1	2
	100.0	0	0	0	0	25.0	0	25.0	50.0



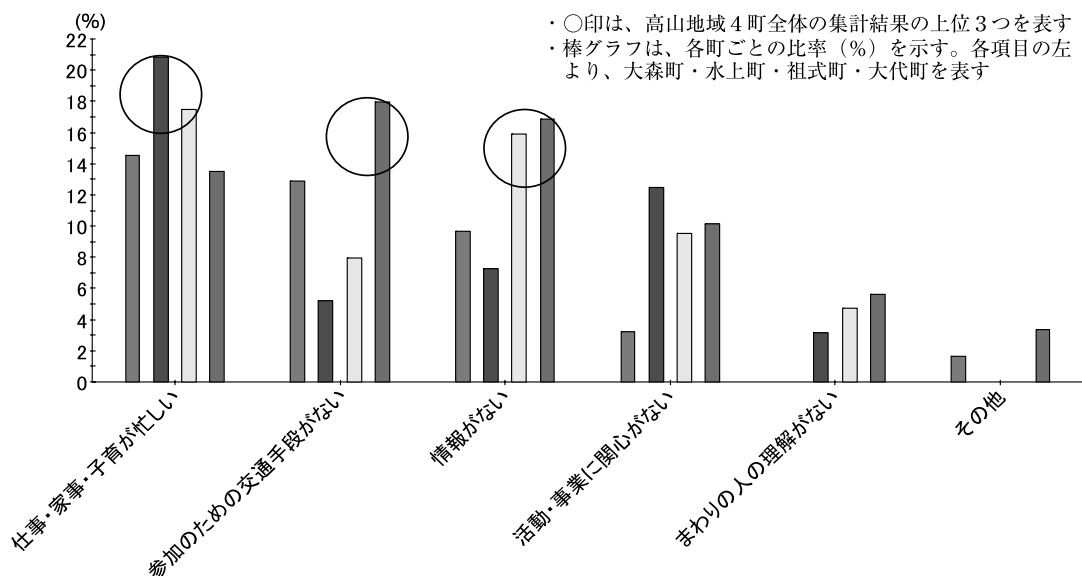
町別に比率を比較すると、上位には、大森町では「仕事・家事・子育てが忙しい」が14.5%、「参加のための交通手段がない」12.9%、水上町では「仕事・家事・子育てが忙しい」20.8%、「活動や事業に関心がない」12.5%、祖式町では「仕事・家事・子育てが忙しい」17.5%、「情報がない」15.9%、大代町では「参加のための交通手段がない」18.0%、「情報がない」が16.9%という結果であった。

このことから、大森町・水上町・祖式町の3町に共通した比率の最も高い不参加理由は「仕事・家事・子育てが忙しい」であり、次に2町に共通した不参加理由として、大森町・大代町は「参加のための交通手段がない」が、祖式町・大代町は「情報がない」が挙がる。また、水上町・祖式町・大代町の「活動・事業に関心がない」が約10%台で挙がり、この原因についても今後究明していくことが求められる。

今後、少子高齢化の進展によりいっそう交通手段の確保が難しくなる地域住民が増えることや、家族構成、勤務場所、各町の地理的条件等も影響してくることも予想され、それらを見通した対応策を着実に積み上げていくことが求められる。

表・図2-8 不参加の理由（町別）

	合 計	仕事・家事・子育てが忙しい	参加のための交通手段がない	情報がない	活動・事業に関心がない	まわりの人の理解がない	そ の 他
度数(人)	134	52	34	38	29	11	4
比率(%)	100.0	38.8	25.4	28.4	21.6	8.2	3.0
大 森 町	62	9	8	6	2	0	1
	100.0	14.5	12.9	9.7	3.2	0	1.6
水 上 町	96	20	5	7	12	3	0
	100.0	20.8	5.2	7.3	12.5	3.1	0
祖 式 町	63	11	5	10	6	3	0
	100.0	17.5	7.9	15.9	9.5	4.8	0
大 代 町	89	12	16	15	9	5	3
	100.0	13.5	18.0	16.9	10.1	5.6	3.4



④ 学習や活動の活用

【質問11：あなたは、学習や活動をとおして学んだことをどのように活かしていますか？ または、これからどのように活かしてみたいと思っていますか？】（複数回答）

全体集計結果の上位には、「自分の健康や体力づくりに活かす」が48.0%で、「趣味や教養を高め、人生を楽しく豊かにする」「地域づくり・まちづくりに活かす」が30%台で続く結果になっている。

町別に比較すると、大森町では「健康や体力づくり」56.5%、「地域づくり・まちづくり」・「趣味・教養」がともに29.0%、水上町では「地域づくり・まちづくり」・「健康や体力づくり」がともに30.2%、「趣味・教養」27.1%、祖式町では「健康や体力づくり」41.3%、「趣味・教養」33.3%、「地域づくり・まちづくり」・「地域福祉活動」がともに22.2%、大代町では「健康や体力づくり」37.1%、「趣味・教養」25.8%、「地域づくり・まちづくり」が23.6%という結果になった。

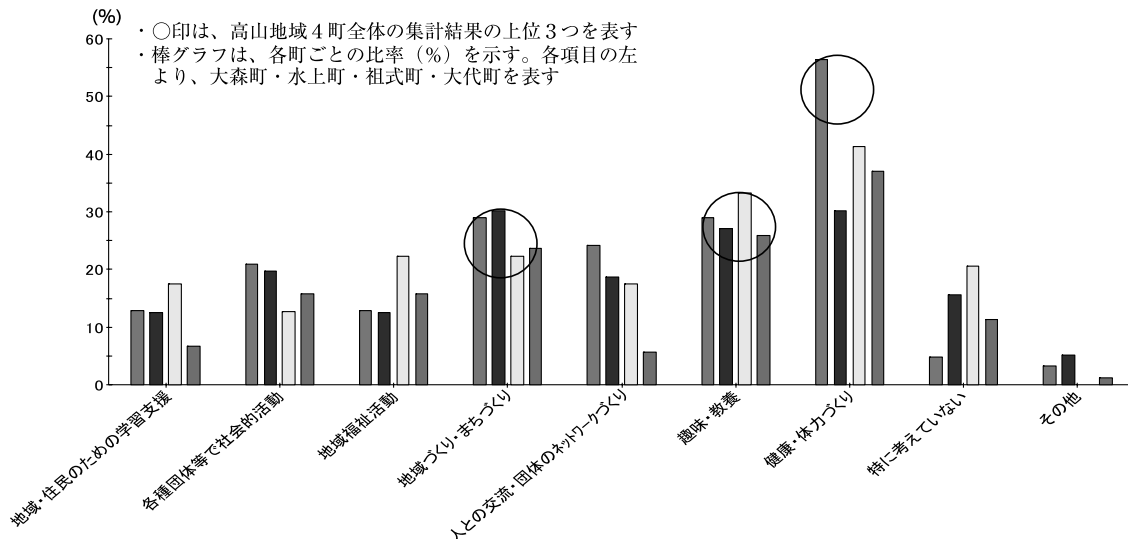
4町共通で比率が最も高かったものは全体集計結果同様に、「健康や体力づくり」、次に「趣味・教養」「地域づくり・まちづくり」となった。

そこで、その項目ごとに他町に比べ高かったものを挙げてみると、大森町は「健康・体力づくり」・「人との交流・団体のネットワークづくり」が、水上町は「地域づくり・まちづくり」が、祖式町は「趣味・教養」・「地域福祉活動」という結果になった。また、大代町については、他町に比べ特に高いものはなく、「健康・体力づくり」を筆頭に全項目に万遍なく広がっている。

これらの結果から考察すると、地域住民の関心が高いものは、まず「個人に関すること」、そして、次に「地域全体に関すること」という順になっていることが分かる。

表・図2-9 学習や活動の活用（町別）

	合計	地域・住民のための学習支援	各種団体等での社会的活動	地域福祉活動	地域づくり・まちづくり	人との交流・団体のネットワークづくり	趣味・教養	健康・体力づくり	特に考えていない	その他
度数(人)	256	37	54	48	82	49	88	123	41	8
比率(%)	100.0	14.5	21.1	18.8	32.0	19.1	34.4	48.0	16.0	3.1
大森町	62	8	13	8	18	15	18	35	3	2
	100.0	12.9	21.0	12.9	29.0	24.2	29.0	56.5	4.8	3.2
水上町	96	12	19	12	29	18	26	29	15	5
	100.0	12.5	19.8	12.5	30.2	18.8	27.1	30.2	15.6	5.2
祖式町	63	11	8	14	14	11	21	26	13	0
	100.0	17.5	12.7	22.2	22.2	17.5	33.3	41.3	20.6	0
大代町	89	6	14	14	21	5	23	33	10	1
	100.0	6.7	15.7	15.7	23.6	5.6	25.8	37.1	11.2	1.1



## ⑤ 公民館事業・活動への希望

【質問12：あなたは、今後、高山公民館にどのような事業や活動を希望しますか？】（複数回答）

全体集計結果の上位には、「健康づくり・医療に関する事業」が41.7%と最も高く、次に「地域づくり・まちづくりのための学習や活動」が33.0%、「地域福祉活動に関する事業」が27.7%、「趣味の講座」が26.5%で続く結果になっている。

町別に比較すると、大森町では「健康づくり・医療に関する事業」37.1%、「趣味の講座」・「防災・防犯に関する研修や講座」がともに30.6%、水上町では「健康づくり・医療に関する事業」36.5%、「地域づくり・まちづくりのための学習や活動」29.2%、「子育て・家庭教育を支援する事業」25.0%、祖式町では「地域福祉活動に関する事業」・「健康づくり・医療に関する事業」がともに34.9%、「地域づくり・まちづくりのための学習や活動」27.0%、大代町では「健康づくり・医療に関する事業」33.7%、「地域づくり・まちづくりのための学習や活動」32.6%、「地域福祉活動に関する事業」21.3%という結果になった。

4町に共通して比率が高かったものは、「健康づくり・医療に関する事業」が30%台で、次に「地域づくり・まちづくりのための学習や活動」が20～30%台で続いている。この結果は、前述④の『学習や活動の活用』の「あなたは、学習や活動をとおして学んだことをどのように活かしたいか」の結果にほぼ重なってくる。

この結果から考察されることは、地域住民のニーズの中に「学んだことは自分や地域のためにぜひ活かしたい、だからこそ、公民館にはこれらの要望を受け止め、それを叶えるための事業や活動を展開してもらいたい」という根強い声があることが分かる。

次に、他町に比べ特に高かったものを挙げてみると、大森町は「防災・防犯の研修・講座」・「趣味の講座」が、水上町は「子育て・家庭教育支援」が、祖式町は「地域福祉活動」が、大代町は「地域づくり・まちづくり」となり、これらは各町がそれぞれ抱える地域課題に直結するものであることが見えてくる。

公民館は、社会教育法20条にある「…一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」社会教育施設であり、上記の公民館への希望に全て応えることは至難の業と考えるが、これらのニーズ（希望・要望）を地域の要請と捉え、また、公民館への期待と捉え、一つずつ誠意をもって対応していかなければならないと考えている。

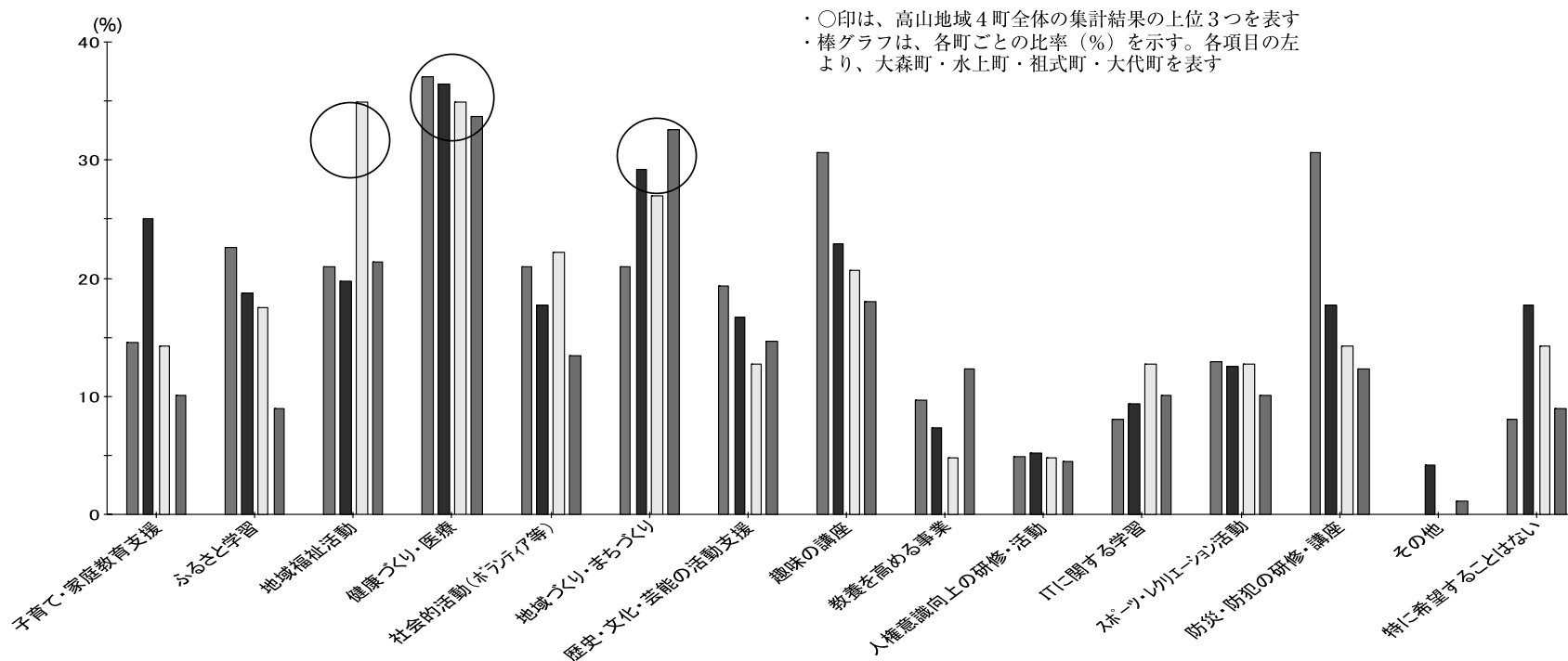
今後も、各町のまちづくりセンター、各種団体、行政機関とのいっそうの連携を図るとともに、まずは全ての基盤となる高山地域の「人のネットワーク（絆）づくり」から進めていかなければと考えている。

微力ながら、牛歩のごとくではあるが、地域住民の皆さんのお力添えをいただきながら、未来を見据え着実に取り組みを進めていくつもりである。



表・図2-10 公民館事業・活動への希望（町別）

	合計	子育て・家庭教育支援	ふるさと学習	地域福祉活動	健康づくり・医療	社会的活動(ボランティア等)	地域づくり・まちづくり	歴史・文化・芸術の活動支援	趣味の講座	教養を高める事業	人権意識の向上・研修・活動	ITに関する学習	スポーツ・レクリエーション活動	防災・防犯の研修・講座	その他	特に希望することはない
度数(人)	264	51	51	73	110	56	87	49	70	27	15	31	37	56	5	39
比率(%)	100.0	19.3	19.3	27.7	41.7	21.2	33.0	18.6	26.5	10.2	5.7	11.7	14.0	21.2	1.9	14.8
大森町	62	9	14	13	23	13	13	12	19	6	3	5	8	19	0	5
	100.0	14.5	22.6	21.0	37.1	21.0	21.0	19.4	30.6	9.7	4.8	8.1	12.9	30.6	0	8.1
水上町	96	24	18	19	35	17	28	16	22	7	5	9	12	17	4	17
	100.0	25.0	18.8	19.8	36.5	17.7	29.2	16.7	22.9	7.3	5.2	9.4	12.5	17.7	4.2	17.7
祖式町	63	9	11	22	22	14	17	8	13	3	3	8	8	9	0	9
	100.0	14.3	17.5	34.9	34.9	22.2	27.0	12.7	20.6	4.8	4.8	12.7	12.7	14.3	0	14.3
大代町	89	9	8	19	30	12	29	13	16	11	4	9	9	11	1	8
	100.0	10.1	9.0	21.3	33.7	13.5	32.6	14.6	18.0	12.4	4.5	10.1	10.1	12.4	1.1	9.0



⑥ 自由記述から

自由記述【質問13：高山公民館の事業や地域での役割について、ご意見やご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。】

《頻出語の抽出について》

この自由記述欄には、70人の皆さんから、意見や要望の記述があった。

そこで、この皆さんの全記述から抽出された単語150語のうち、出現回数の多かった頻出語の順に（左上から）1位「思う」38回、2位「活動」31回、3位「公民館」29回と、以下掲載してみた。

なお、下記の一覧表は、全記述の中から3回以上出現した単語（60語）を全て挙げてみると、このような結果になった。

抽出語	出現回数
思う	38
活動	31
公民館	29
地域	26
出来る	17
高山	16
事業	15
考える	13
参加	13
地区	13
高齢	12
町	12
人	9
センター	8
お願い	7
交流	7
必要	7
それぞれ	6
不安	6
良い	6

抽出語	出現回数
ブロック	5
言う	5
行う	5
自治	5
少し	5
多い	5
皆さん	4
感じる	4
協力	4
今	4
困る	4
自分	4
住民	4
場所	4
色々	4
進む	4
知る	4
分かる	4
聞く	4
有る	4

抽出語	出現回数
利用	4
一つ	3
課題	3
楽しむ	3
関心	3
希望	3
研修	3
元気	3
行事	3
講座	3
今後	3
残念	3
仕事	3
子供	3
車	3
出る	3
書く	3
相談	3
中心	3
頂ける	3

### 《頻出語の出現パターンによる分析》

前ページの頻出語一覧により、5回以上出現した単語の出現パターンを調べ、その似通ったものを線で結んだ「共起ネットワーク図」が、下記のとおりである。

**注** 「共起」とは、二つの別の語が、一つの文や句の内部で同時に用いられる現象

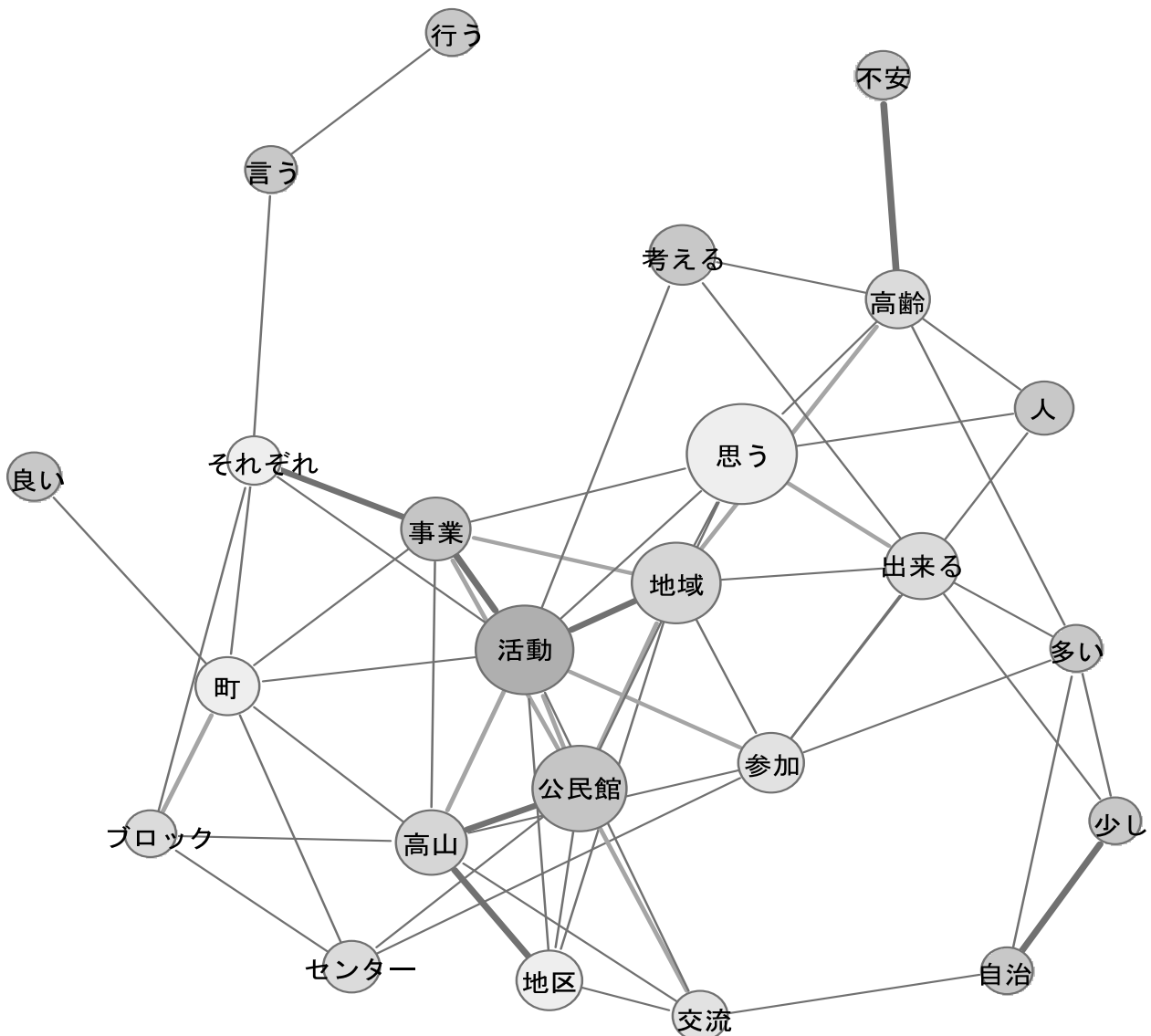
円の大きさが出現回数の多さを表し、各円を結ぶ線の太さは共起の程度の強さを表している。

この頻出単語のパターンを分析してみると、中心となる単語「公民館」、「活動」、「地域」、「町」、「出来る」を基に、5つの共起グループができることが分かる。

特に「公民館」には、「活動」・「地域」という言葉が不可欠であることが分かる。また、このことから「公民館活動」への期待の大きさが分かる。

そして、次に公民館が「地域」での「事業」のさらなる展開や、「高山地域（ブロック）」を視野に入れた「4地区」の「交流」活動、地域住民の活動への「参加」の促進などの期待が読み取れる。

今後、この図にもあるように、「まちづくりセンター」「自治会」「高齢者」等との交流・連携をいっそう強くし、事業や活動を展開していく必要性を感じている。



### 第3章 調査結果のまとめ

#### (1) 回収結果、回答者の属性から

- ① 調査の回収結果は、804世帯で有効回答数310（38.6%）という結果になった。この数字は決して高いものとは言えないが、この調査結果は統計学上5%幅で95%の信頼度のあるものであり、今後の公民館事業をはじめとする様々な活動・協議等の場面において、有効に活用していかなければならないと考える。

※高山地域全世帯数804世帯、高山地域全住民数1,794人（平成24年12月1日現在）

- ② 奇しくも回答者の男女数は同数であったが、各世帯の代表1名に回答を求めたため、年齢は60歳代以上が7割を占め、特に40歳代以下は1割にも満たない結果となった。この結果から、世帯主が高齢化の中にあっても現役で活躍していることが、職業の調査結果からも同様に読み取れた。また、この調査結果から、男性に比べ、女性が公民館事業等への関心が高いことも分かった。

#### (2) 地域の宝・課題・取り組みは、何か

- ① 調査結果から、この地域の宝は「豊かな自然環境」「人々の助け合い・交流活動」「文化・伝統芸能活動」であった。町別では、大森町は「歴史遺産」が、水上町は「特産品（瓦など）」が、水上町・祖式町・大代町は「伝統・芸能活動」が、他町に比べ特に高い比率であった。

この宝に、次世代を担う「子ども」たちを加え、今後も守り、育て、結びあっていくことが、公民館の重要な役割と捉えている。

- ② 地域の課題には、「少子・高齢化」「自然災害」「地域医療体制」「耕作放棄地」「介護問題」「働く場所と雇用の問題」等が、数多く挙げられた。

この質問において、回答者に複数回答を求めたところ、1人平均回答数が5.4と全質問の中で最も高い数値を示し、これらの地域課題がいかに深刻で多岐にわたるものであるかが分かった。

今後は、行政や諸団体とのネットワークをいっそう太くするとともに、地域住民がまずこの課題を共有し、可能なところから一つずつ解決に向けて着手していかなければならないと考える。

- ③ 『地域づくりのためにどんな取り組みが必要と思うか?』の質問では、「地域の諸行事・交流活動」「地域福祉活動」「地域づくり・まちづくり」「健康づくり・医療の学習活動」「歴史・文化・伝統芸能の保存・継承」が挙がり、『あなたは、地域でどのような活動に取り組んでいるか?』の質問には、「地域の諸行事・交流活動」に6割、「美化・環境保全活動」と「地域づくり・まちづくり活動」が、ともに約3割が占める結果になった。

この結果から、地域住民が「地域づくりのために必要と思うこと」と、現実に「今、取り組んでいること」に差異があり、今後はこの溝を埋めていかなければならないと考えている。

また、地域での活動が「特にない」と答えた人が、5人に1人の割合でいる実態があり、公民館からの事業・活動への積極的な呼びかけだけでなく、日頃から近隣の人同士の繋がりを強くするための地域諸団体による地道な活動の展開や、住民同士による参加への声かけなどの、参加しやすい環境づくりを地域で醸成していく必要性を感じた。

- ④ 高山公民館・まちづくりセンターの事業や講座の参加状況は、「ある」が「ない」をわず

かに上回ったが、半数に近い住民が参加していない実態があった。「ある」と答えた地域住民の多くは、「共催事業（運動会・文化祭など）」「健康づくり講座」「幼・保・小・中との交流活動」に主に参加していた。

その一方、「ない」と答えた地域住民の主な参加阻害要因は、「仕事・家事・子育てが忙しい」「情報がない」「参加の交通手段がない」「活動・事業に関心がない」という理由であった。

今後、この阻害要因を取り除いていくためには、各町の実態に即した課題解決のための取り組みを、まちづくりセンター・諸団体（社会福祉協議会、敬老会、自治会等）とともに、きめ細かな連携・協力や情報交換を図りながら進めていかなければならないことを痛感している。

### (3) 公民館事業・活動への希望

① 調査結果から、地域住民の多くには、公民館やまちづくりセンターでの学習や地域活動の成果を「健康・体力づくり」「趣味・教養」「地域づくり・まちづくり」に活かしたい、という思いが高いことが分かった。

② 『高山公民館にどのような事業や活動を希望しているか？』の質問については、1人平均3.0となる高い回答数となった。

その回答の上位には、「健康づくり・医療に関する事業」「地域づくり・まちづくりのための学習や活動」「地域福祉活動に関する事業」が挙がり、前ページ(2)の③とほぼ同じ結果になった。町別の住民の選択（希望・要望）では、大森町が「趣味の講座」「防災・防犯の研修・講座」、水上町が「子育て・家庭教育支援事業」、祖式町が「地域福祉活動」、大代町が「地域づくり・まちづくりの学習・活動」と挙がり、各町の特徴が見られた。

今後、まちづくりセンター・公民館の連携・連動の強化は勿論であるが、アンテナを高くして行政・諸団体とのネットワークを構築していくことが急務と捉えている。

### (4) 調査結果の活用

① 調査結果を「高山みらいの会」（平成24年12月に設立）活動のための基礎資料として活用する。

② 今後の公民館事業の改善・充実に積極的に反映させる。

## 《資料》(1)回答者の属性について

### ① 町別

高山地域4町の有効回答数(度数)の回収率は、30%台が水上町、他3町が20%台の結果となった。

なお、調査対象は全世帯であるが、回答者(調査記入者)は各世帯の代表者1名であるため、この全回答者の有効回答数をもって分析を行った。

表1 回答者の町別分布

カテゴリー	度数	%
大森町	62	20.0
水上町	96	31.0
祖式町	63	20.3
大代町	89	28.7
合計	310	100.0

※度数とは、有効な回答者数をいう

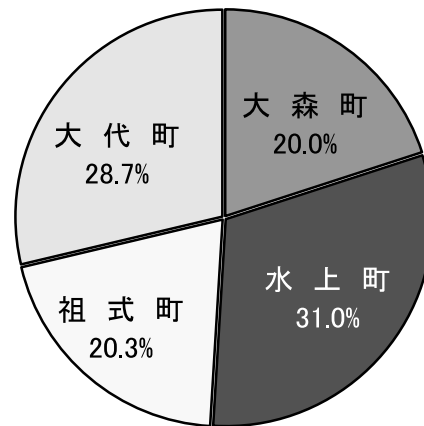


図1 回答者の町別分布

その有効回答世帯数の町別割合は、大森町193世帯中62世帯(人)の回答で32.1%、水上町227世帯中96世帯で42.3%、祖式町168世帯中63世帯で37.5%、大代町216世帯中89世帯で41.2%であった。各町の世帯数の多寡により度数には違いがあるものの、割合の上では4町ほぼ平均値に近い結果となった。

図・表2 回答者の町別での割合

カテゴリー	度数	%	0	100	200	300	~	800(世帯)
大森町	62	32.1	32.1%					
大森町世帯数	193	100.0	100.0%					
水上町	96	42.3	42.3%					
水上町世帯数	227	100.0	100.0%					
祖式町	63	37.5	37.5%					
祖式町世帯数	168	100.0	100.0%					
大代町	89	41.2	41.2%					
大代町世帯数	216	100.0	100.0%					
有効回答数	310	38.6	38.6%					
高山全世帯数	804	100.0	100.0%					

② 性別 【質問1：あなたの性別は？】

高山地域の男女別（男837人、女957人）の人口比率では、女性の方が6.7%ほど男性を上回っているが、本調査の男女の有効回答者数は同数であった。

表2-1 回答者の性別

カテゴリー	度数	%
男性	155	50.0
女性	155	50.0
合計	310	100.0

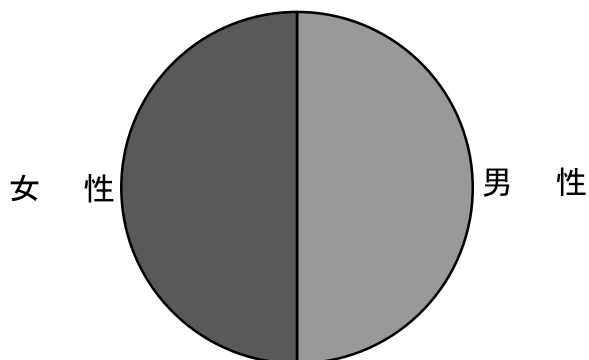
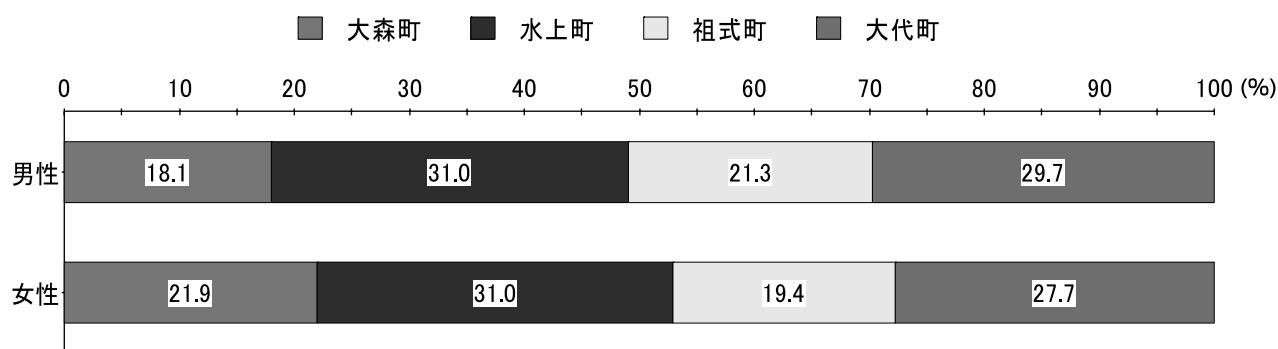


図2-1 回答者の性別

男性全体における各町の男性の割合は、大森町28人（18.1%）、水上町48人（31.0%）、祖式町33人（21.3%）、大代町46人（29.7%）となり、女性全体における各町の女性の割合は、大森町34人（21.9%）、水上町48人（31.0%）、祖式町30人（19.4%）、大代町43人（27.7%）となった。

表・図 2-2 回答者の性別（町別）

性別	地域の町名					
	合計	大森町	水上町	祖式町	大代町	
度数合計	310	62	96	63	89	
比率合計 (%)	100.0	20.0	31.0	20.3	28.7	
男性	度数	155	28	48	33	46
	比率 (%)	100.0	18.1	31.0	21.3	29.7
女性	度数	155	34	48	30	43
	比率 (%)	100.0	21.9	31.0	19.4	27.7



③ 年齢 【質問2：あなたの年齢は？】

回答者の年齢構成は、40歳未満が全体の8.0%、50歳代22.3%、60歳代27.1%、70歳代24.8%、80歳代以上が17.7%となった。（表・図3-1）

高い順に並び替えると、60歳代、70歳代、50歳代の順位で多く、上位3位の年代だけで全体の74.2%を占めている。また、50歳以上の年代を合わせると、回答者のおよそ9割（91.9%）を占めている。

表 3-1 回答者の年齢構成

カテゴリー	度数	%
20歳未満	2	0.6
20歳代	0	0.0
30歳代	11	3.5
40歳代	12	3.9
50歳代	69	22.3
60歳代	84	27.1
70歳代	77	24.8
80歳以上	55	17.7
合計	310	100.0

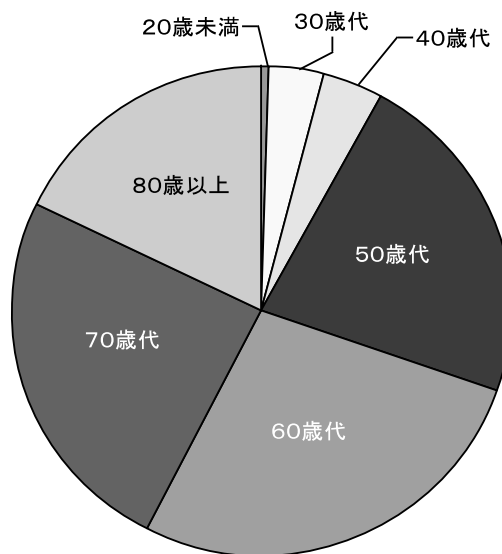
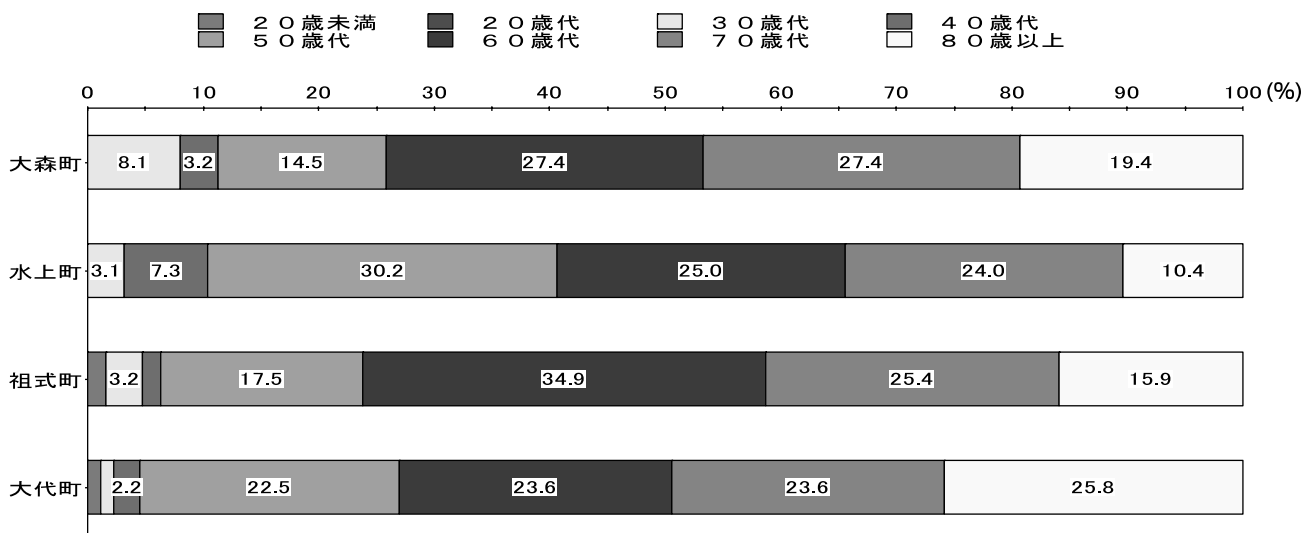


図 3-1 回答者の年齢構成

次に、各町における回答者の年齢構成はどのようになっているのか、その割合を示したものである。そこで、各町の50歳代以下の現役世代に注目し、その割合を見てみると、大森町25.8%、水上町が40.6%、祖式町が23.9%、大代町が26.9%となり、水上町の4割台を除き、他3町は各町の4分の1を占める結果となった。(表・図3-2)

表・図 3-2 町別の年齢構成

	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
度数合計	310	2	0	11	12	69	84	77	55
比率合計(%)	100.0	0.6	0	3.5	3.9	22.3	27.1	24.8	17.7
大森町	62	0	0	5	2	9	17	17	12
	100.0	0	0	8.1	3.2	14.5	27.4	27.4	19.4
水上町	96	0	0	3	7	29	24	23	10
	100.0	0	0	3.1	7.3	30.2	25.0	24.0	10.4
祖式町	63	1	0	2	1	11	22	16	10
	100.0	1.6	0	3.2	1.6	17.5	34.9	25.4	15.9
大代町	89	1	0	1	2	20	21	21	23
	100.0	1.1	0	1.1	2.2	22.5	23.6	23.6	25.8





次に、回答者の年代（年齢）ごとに、各町ではどのような割合（度数と比率）になっているのかを示したものである。（表・図3-3）

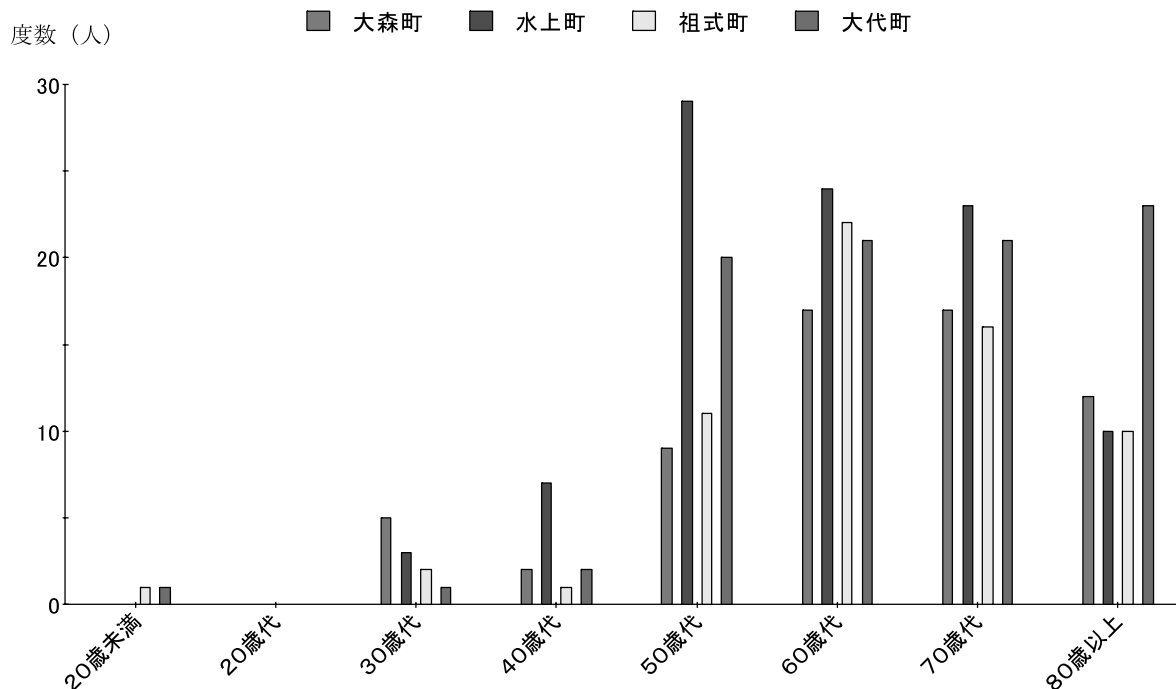
最初に、各町の度数（人）に注目すると、それぞれの町で最も高いものは、大森町では60・70歳代が度数17、水上町では50歳代が度数29、祖式町では60歳代が度数22、大代町では80歳以上が度数23となった。

次に、各町における比率（各年代を100.0%とした場合に各町が占める比率）で最も高いものは、大森町では30歳代が45.5%、水上町では40歳代が58.3%となり、祖式町では20歳未満の50.0%の次に60歳代が26.2%、大代町では20歳未満の50.0%の次に50歳代が29.0%という結果になった。

この調査の回答を各世帯代表1各としたため、上記のように回答者の年代が高くなるという結果にはなったが、20歳未満、30歳代、40歳代の度数合計は25（人）で、数字としては高くはないものの、若い世代の皆さんからも貴重な回答を得たものと受け止めている。

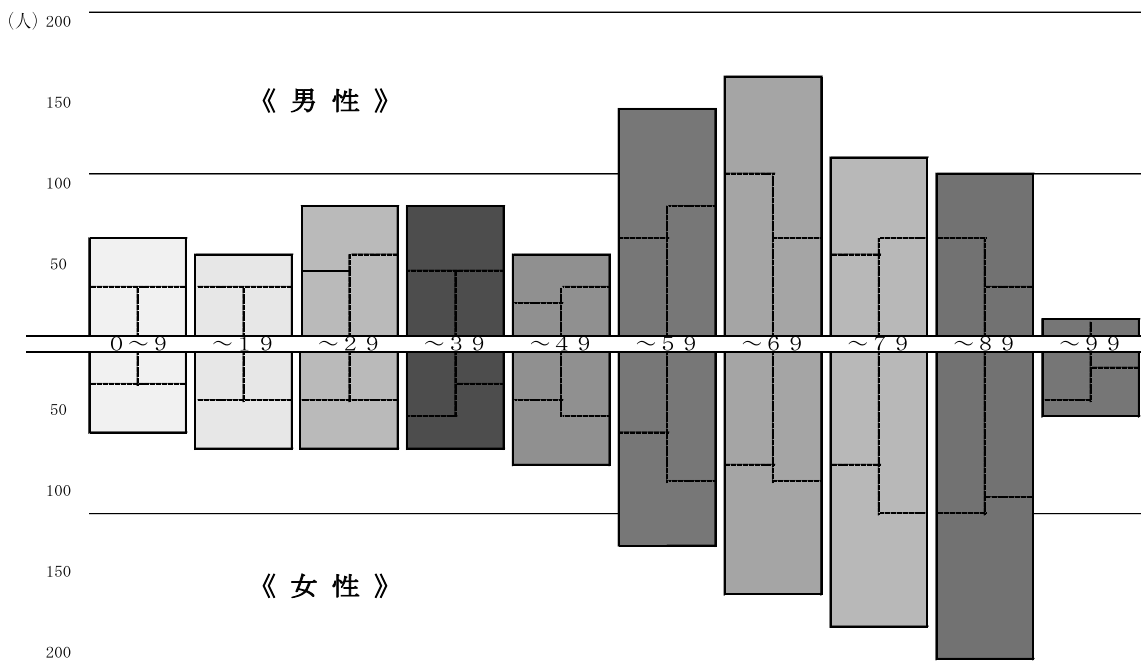
表・図 3-3 年代の町別割合

	合計	大森町	水上町	祖式町	大代町
度数合計	310	62	96	63	89
比率合計(%)	100.0	20.0	31.0	20.3	28.7
20歳未満	2	0	0	1	1
	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0
20歳代	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	11	5	3	2	1
	100.0	45.5	27.3	18.2	9.1
40歳代	12	2	7	1	2
	100.0	16.7	58.3	8.3	16.7
50歳代	69	9	29	11	20
	100.0	13.0	42.0	15.9	29.0
60歳代	84	17	24	22	21
	100.0	20.2	28.6	26.2	25.0
70歳代	77	17	23	16	21
	100.0	22.1	29.9	20.8	27.3
80歳以上	55	12	10	10	23
	100.0	21.8	18.2	18.2	41.8



参考資料

《全高山地域の年齢別人口グラフ》



高山地域の人口																				平成24年12月1日現在	
年齢	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	計
男	29	28	25	26	35	46	41	36	24	28	59	78	96	64	46	64	64	35	11	2	837
女	23	24	26	29	31	32	33	22	30	38	49	73	68	77	68	104	95	91	34	10	957
計	52	52	51	55	66	78	74	58	54	66	108	151	164	141	114	168	159	126	45	12	1,794

※ 上記表の年齢が「0」の場合は0～4歳を表し、「5」の場合も5～9歳を表す。他、同じ表し方である。

④ 職業 【質問3：あなたの、主となるお仕事は？】

単純集計結果では、「その他（無職など）」と回答した人が36.1%と最も多く、次に「会社員」、  
「専業主婦・主夫」、「農林・水産業」が10%台で続く結果となった。

表4-1 回答者の職業

カテゴリー	度数	%
農林・水産業	39	12.6
自営業	25	8.1
会社員	53	17.1
公務員	11	3.5
団体職員	2	0.6
パート・アルバイト	22	7.1
専業主婦・主夫	45	14.5
学生	1	0.3
その他（無職など）	112	36.1
合計	310	100.0

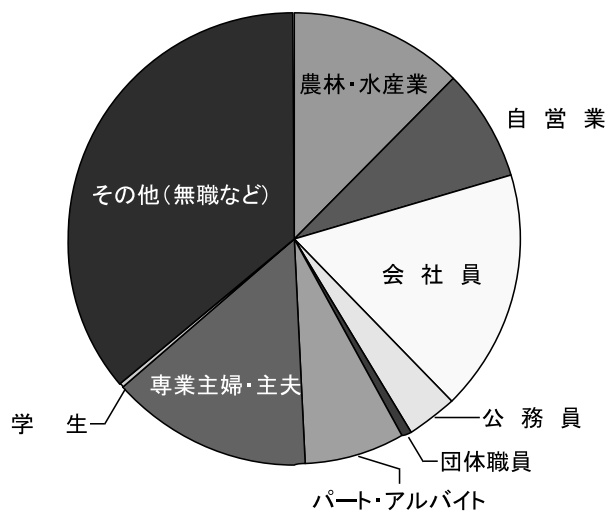


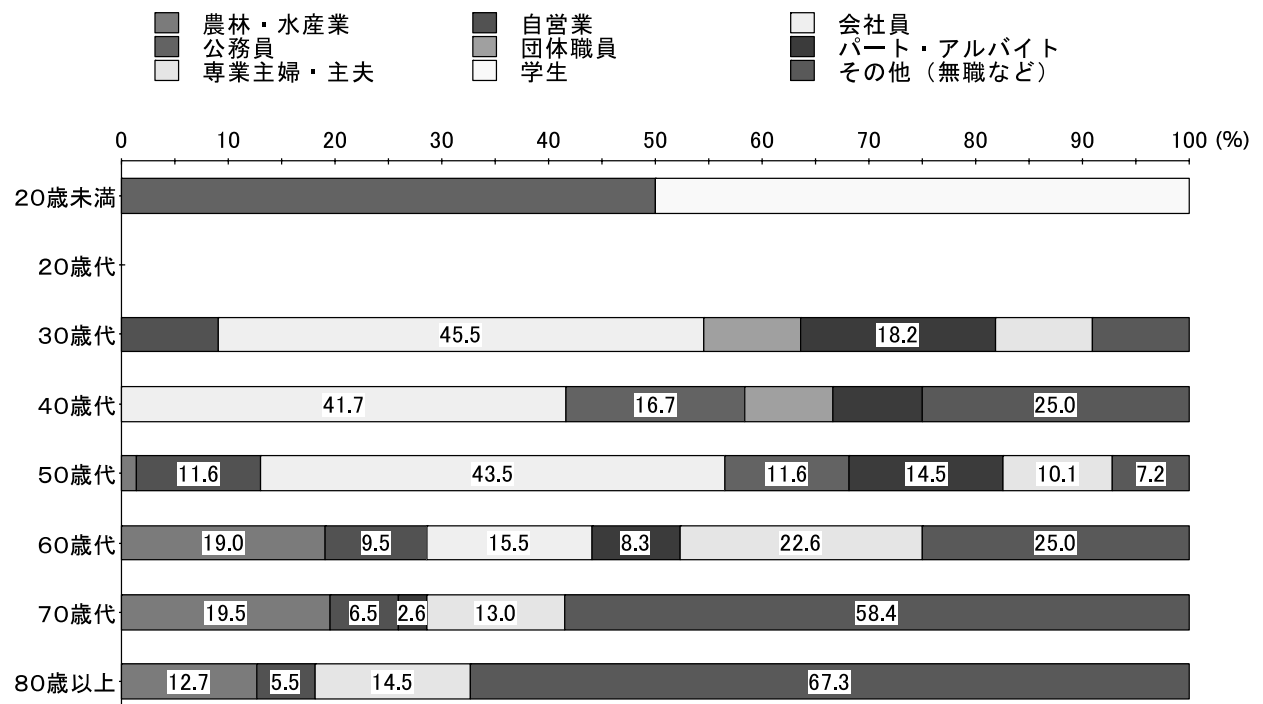
図4-1 回答者の職業

そこで、全体の年代別における割合はどのようになっているかを調べたところ、30・40・50歳代では41.7%～45.5%で「会社員」が多く占め、「その他（無職など）」が、40歳代で25.0%であるが、50歳代以上から年代が上がるにつれ急激に多くなっている。また、「農林・水産業」は、60歳・70歳・80歳代で12.7～19.5%となり、60歳代以上の年代でそれぞれほぼ一定の割合を占めている。

そして、「専業主婦・主夫」は、60歳代が22.6%と最も多いものの、40歳代を除く30歳・50歳・70歳・80歳の各世代でそれぞれ9.1%～14.5%の一定の割合で占めている。（表・図4-2）

表・図4-2 年代別の各職業の割合

	合計	農林・水産業	自営業	会社員	公務員	団体職員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	その他(無職など)
度数(人)	310	39	25	53	11	2	22	45	1	112
比率(%)	100.0	12.6	8.1	17.1	3.5	0.6	7.1	14.5	0.3	36.1
20歳未満	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	100.0	0	0	0	50.0	0	0	0	50.0	0
20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30歳代	11	0	1	5	0	1	2	1	0	1
	100.0	0	9.1	45.5	0	9.1	18.2	9.1	0	9.1
40歳代	12	0	0	5	2	1	1	0	0	3
	100.0	0	0	41.7	16.7	8.3	8.3	0	0	25.0
50歳代	69	1	8	30	8	0	10	7	0	5
	100.0	1.4	11.6	43.5	11.6	0	14.5	10.1	0	7.2
60歳代	84	16	8	13	0	0	7	19	0	21
	100.0	19.0	9.5	15.5	0	0	8.3	22.6	0	25.0
70歳代	77	15	5	0	0	0	2	10	0	45
	100.0	19.5	6.5	0	0	0	2.6	13.0	0	58.4
80歳以上	55	7	3	0	0	0	0	8	0	37
	100.0	12.7	5.5	0	0	0	0	14.5	0	67.3



次に、各町における職業の割合がどのようになっているかを調べたところ、4町に共通して比率で最も高いものは、「その他（無職など）」が約30～40%台で挙げた。

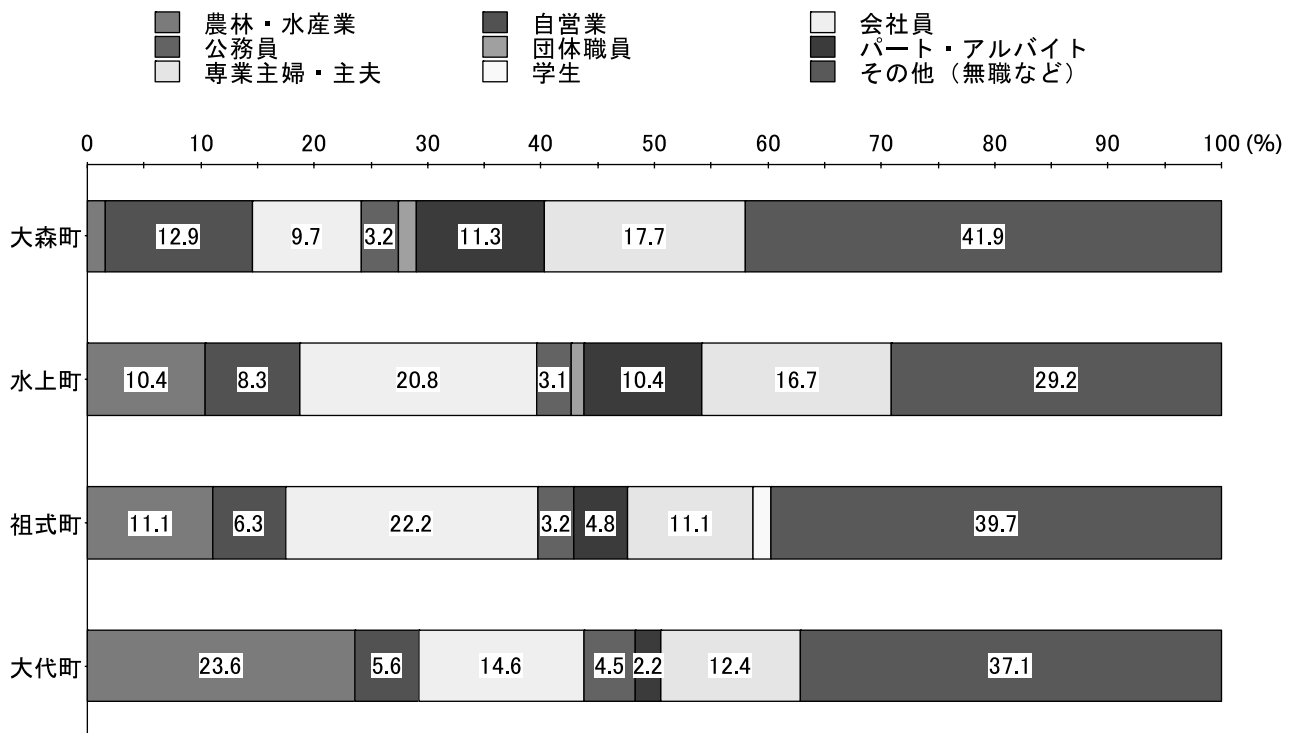
この結果から、今回、調査に回答した各世帯代表者の多くが、すでに主となる仕事を退職した人で占められることが分かる。（表・図4-3）

各町別に以下2位以降は、大森町では「専業主婦・主夫」17.7%、「自営業」12.9%が、水上町では「会社員」20.8%、「専業主婦・主夫」16.7%が、祖式町では「会社員」22.2%、「専業主婦・主夫」・「農林・水産業」11.1%が、大代町では「農林・水産業」23.6%、「会社員」14.6%、「専業主婦・主夫」12.4%が続いている。

よって、この分析結果から、現役世代は「専業主婦・主夫」が4町に共通して10%台で上位を占めているものの、他町と比較すると大森町は「自営業」が、水上町・祖式町は「会社員」が、大代町は「農林・水産業」が高いことが分かり、各町の特徴が見て取れる。

表・図4-3 町別の職業の割合

	合計	農林・水産業	自営業	会社員	公務員	団体職員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	その他(無職など)
度数(人)	310	39	25	53	11	2	22	45	1	112
比率(%)	100.0	12.6	8.1	17.1	3.5	0.6	7.1	14.5	0.3	36.1
大森町	62	1	8	6	2	1	7	11	0	26
	100.0	1.6	12.9	9.7	3.2	1.6	11.3	17.7	0	41.9
水上町	96	10	8	20	3	1	10	16	0	28
	100.0	10.4	8.3	20.8	3.1	1.0	10.4	16.7	0	29.2
祖式町	63	7	4	14	2	0	3	7	1	25
	100.0	11.1	6.3	22.2	3.2	0	4.8	11.1	1.6	39.7
大代町	89	21	5	13	4	0	2	11	0	33
	100.0	23.6	5.6	14.6	4.5	0	2.2	12.4	0	37.1



# 高山地域のより良い未来を築くため、 皆さんの声を届けていただけませんか！

## 「高山地域住民の地域活動・意識(思い、願い)調査」のお願い

高山地域の皆さまには、日頃から公民館と4町まちづくりセンターの事業・講座にご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

この調査は、高山地域の全世帯(808世帯)を対象として、高山地域のより良い未来を築くために、住民の皆さまの地域への思いや願い、取り組んでこられた地域活動についてお聞きします。そして、そこから見えてくる課題解決の手立てを、今後の高山公民館の事業に反映させることを目的に実施します。

この調査の主旨に何とぞご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、調査の回答は、上記の目的以外には使用いたしませんので、ご安心ください。

平成24年11月 大田市立高山公民館

### 調査表ご記入のお願い

- ① 各世帯のご家族のどなたか、お一人の方が、全てご記入ください。
- ② 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。  
回答が「その他」の場合には、[ ]の中に具体的にご記入ください。
- ③ ご記入の後、回答用紙を12月7日(金)までに、同封の返信用封筒で郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)

#### 【調査についての問い合わせ先】

大田市立高山公民館 (館長 大畑 修一)  
(主事 流水真理子)  
電話 (0854)89-0211  
FAX (0854)89-0211  
E-mail : ko-takayama@iwamigin.jp

## 《回答用紙》

あなたご自身のことについて、おたずねします

質問1 あなたの性別は？（あてはまる番号に○をつけて下さい）

1. 男性                      2. 女性

質問2 あなたの年齢は？（平成24年11月1日現在の年齢でお答えください）

1. 20才未満            2. 20才代            3. 30才代            4. 40才代  
5. 50才代            6. 60才代            7. 70才代            8. 80才以上

質問3 あなたの、主となるお仕事は？（あてはまる番号を一つだけ選び○をつけてください）

1. 農林・水産業    2. 自営業    3. 会社員    4. 公務員    5. 団体職員  
6. パート・アルバイト    7. 専業主婦・主夫    8. 学生    9. その他（無職など）

今、あなたがお住まいの地域への思いやお考えについて、おたずねします

質問4 あなたがお住まいの地域で、他の地域に自慢できることや、誇りに思っているものは何ですか？（あてはまる全ての番号に○をつけてください。）

1. 地域の人々の助け合いや交流活動                      2. 子どもの教育に関する活動  
3. 地域の歴史遺産    4. 地域の文化・伝統芸能  
5. 豊かな自然環境    6. 農林水産業  
7. 他の地域にはない特産品（瓦など）                      8. その他 [    ]  
9. 他の地域に誇るものはない

質問5 あなたがお住まいの地域で、今、困っていることや不安に感じていることは、何ですか？（あてはまる全ての番号に○をつけてください）

1. 自然災害（地震・水害・鳥獣被害など）                      2. 人間関係の希薄化  
3. 空き家問題    4. 集落の崩壊  
5. 子どもの教育    6. 学校の統廃合  
7. 地域医療体制    8. 公共交通機関  
9. 少子・高齢化    10. 介護の問題  
11. 後継者問題    12. 耕作放棄地  
13. 歴史・文化・伝統芸能の継承                              14. 自然環境の保全  
15. 働く場所と雇用の問題                                      16. 人権に関する課題  
17. 安心・安全な生活環境                                      18. その他 [    ]  
19. 困ったことや不安はない

質問6 今後、より良い地域づくりのために、あなたのお住まいの地域で、どのような取り組みが必要と思いますか？（あてはまる全ての番号に○をつけてください）

- |                                    |                       |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1. 地域の諸行事・住民の交流活動                  | 2. 地域福祉活動             |
| 3. 子育てや家庭教育の支援                     | 4. 青少年（児童）の健全育成       |
| 5. 歴史・文化・伝統芸能の保存・継承活動              | 6. 健康づくり・医療に関する学習活動   |
| 7. 美化・環境保全活動                       | 8. 防災・防犯・交通安全のための住民活動 |
| 9. 農林業・産業・観光の振興動                   | 10. 地域の産物、名産品の開発      |
| 11. 地域づくり、まちづくりに関する活動              | 12. 地域課題解決のための学習や研修   |
| 13. 人権意識向上のための学習                   | 14. 国際交流・国際協力のための活動   |
| 15. スポーツ少年団や青少年・女性・高齢者等の各種地域団体の活性化 |                       |
| 16. 自治会や、地域・環境・教育等の各種ボランティア活動への参加  |                       |
| 17. その他 [                          | ]                     |

質問7 現在、あなたは、あなたのお住まいの地域で、どのような活動にかかわったり、自ら取り組んだりしておられますか？（あてはまる全ての番号に○をつけてください）

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 地域の諸行事・住民の交流活動への参加  | 2. 地域福祉に関する活動        |
| 3. 子育てや、青少年の健全育成のための活動 | 4. 地域づくり、まちづくりのための活動 |
| 5. 歴史・文化・伝統芸能の保存・継承活動  | 6. 地域の美化・環境保全に関する活動  |
| 7. 趣味や学習のためのグループ活動     | 8. その他 [             |
| 9. 特にな                 | ]                    |

あなたの学習活動や、高山公民館の事業・講座について、おたずねします

質問8 あなたは、過去3年間 [平成21年度から]、高山公民館・まちづくりセンターの事業や講座に参加したことがありますか？（あてはまる番号に○をつけてください）

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ある（⇒質問9へ） | 2. ない（⇒質問10へ） |
|--------------|---------------|

質問9 「参加したことがある」にお答えの方におたずねします。それはどんな事業や講座でしたか？（あてはまるもの全ての番号に○をつけてください）

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 子育て・家庭教育支援事業          | 2. 保・幼・小・中学校との交流活動   |
| 3. 健康づくり（健康法、医療など）の講座    | 4. 趣味（茶道、手芸、舞踊など）の講座 |
| 5. 各種団体との共催事業（運動会、文化祭など） | 6. スポーツ・レクリエーション活動   |
| 7. 歴史・文化・芸術に関する活動        | 8. 人権・男女共同参画に関する学習活動 |
| 9. 社会的活動（ボランティア活動・地域活動）  | 10. 地域福祉活動           |
| 11. IT（情報技術）社会・技術に関する学習  | 12. その他 [            |
|                          | ]                    |

質問10 「参加したことがない」にお答えの方におたずねします。それはどんな理由で参加することができませんでしたか？（あてはまるもの全ての番号に○をつけてください）

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 仕事や家事、子育てが忙しい | 2. 参加するための交通手段が難しい |
| 3. 情報がない         | 4. 活動や事業に関心がない     |
| 5. まわりの人の理解が得にくい | 6. その他 [           |
|                  | ]                  |

